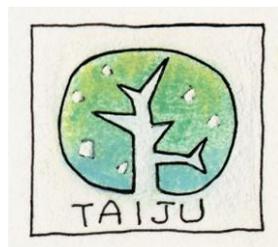


事業概要 2016 (平成28年度)



社会福祉法人 大 樹

目 次

1 事業報告

(総括)

●平成28年度 概況報告	1
●第2期三ヵ年業務行動計画：4つの重点目標への取組み	1
●ワークライフバランスと働きがいのある組織（職場）づくりへの取組み	2
●事故防止及び苦情対応、虐待防止及び権利擁護への取組み	3
●理事会・評議員会の開催	6
●理事、監事名簿	9
●評議員名簿	9

(事業別)

●江ヶ崎生活介護事業所	10
●豊岡就労支援事業所「麦の家」	12
●ヘルパーステーション木の葉	13
●障がい者後見的支援室「りんくるつるみ」	15
●鶴見区基幹相談支援センター	17
●つるみ地域生活支援センター	22
●つるみ地域活動ホーム幹	26
●グループホーム彩事業所	33
●あそびのひろばこかげ	35
●鶴見市場地域ケアプラザ「ゆうづる」	37
●鶴見市場コミュニティハウス「ゆうづる」	46

(法人概要)

●法人概要	48
(1) 法人基本理念	48
(2) 法人のあゆみ	48
(3) 法人の施設概要	53
(4) 組織体制	57
(5) 平成28年度大樹組織体制	58

2 附属明細書

- 資料1 平成28年度 豊岡就労支援事業所 麦の家 実績
- 資料2 あそびのひろばこかげ&わたげ 28年度利用実績
- 資料3 地域活動交流事業/コミハ 28年度 参加者実績
- 資料4 地域包括支援センター28年度 事業実績

3 計算書類及び財産目録

資金収支計算

資金収支内訳表

事業活動計算書

事業活動内訳表

法人単位貸借対照表

貸借対照表内訳表

財産目録

1 事業報告

●平成28年度 概況報告

社会福祉法人制度について経営組織のガバナンスの強化や事業運営の透明性の向上等の改革を進めるため、社会福祉法が改正され、平成28年3月31日に成立し、平成29年4月1日に全面施行されることとなった。

平成28年度は、改正法の全面施行を控え、定款の変更、評議員選任・解任委員会による評議員の選任、法人規程の改正など組織や規程の整備を行った。

また、この改正法の趣旨を踏まえつつ、鶴見区で障がい福祉事業を担うはじめての社会福祉法人として、第2期3ヵ年業務行動計画(平成27年度～平成29年度)に基づき、法人経営の基盤強化と共に、より地域から信頼される組織となるよう事業を進めた。

鶴見区の人口は増加傾向にあり、今後、障がい児者、家族、高齢者のニーズはますます増加傾向となっている。さまざまな地域課題がある中、特に社会資源不足への対応として積極的に障がい福祉サービス事業の新規開設及び既存事業の充実化を図った。

また、平成28年度からはじまる地域の相談支援体制の柱となる「基幹相談支援センター」(つるみ地域活動ホーム幹)、地域包括ケアシステムの一翼を担う「横浜市生活支援体制整備事業」(鶴見市場地域ケアプラザ)の円滑実施にむけ、行政、関係機関等とのさらなる連携強化に着手した年度となった。

●第2期三ヵ年業務行動計画：4つの重点目標への取組み

1 法人経営のさらなる基盤固め

(1) 社会福祉法人改革への的確かつ円滑な対応

- ①改正法に対応するため、定款を変更し、平成29年2月17日に横浜市の認可を得た。
- ②評議員会を議決機関と位置づけ、評議員選任・解任委員会により評議員の選任を行い、理事会、監事との牽制関係を明確にした。
- ③純資産から事業継続に必要な財産の額を控除し、福祉サービスに再投下可能な財産額(「社会福祉充実残額」)を明確化し、財務規律を強化する準備を行った。

2 障がい者の施設サービスの展開

(1) 就労支援事業の再編/強化～麦の家2号店の開設

一般就労支援の強化及び工賃向上を目的に、横浜市の施設整備補助金を得て、豊岡就労支援事業所『麦の家2号店(従たる事業所)』(本町通1丁目)を平成28年11月に開設。喫茶部門を併設し、地元客の獲得を目指した。

(2) 障がい者の住まいの整備～共同生活住居「けやきハイツ」の再整備

居室の老朽化、陳腐化が進んでいた「けやきハイツ」について、所有者負担により、居室の改装および消防設備(スプリンクラー)の設置を行うこととなり、引き続きグループホームの運営を行うこととなった。

(3) 重度障がい者の活動支援の充実～江ヶ崎生活介護事業所の運営安定化

平成26年5月に開設以来、知的障がいを伴う自閉症者が安心して過ごすことができる活動の場づくりを行ってきた結果、順調に利用者が増え、契約者が19人（定員20人）となり、経営面でも安定化を図ることができた。

(4) つるみ地域活動ホーム幹大規模修繕の実施

施設が開設されてから15年が経過し、経年劣化への対応のため外壁、屋上防水等の大規模修繕を1月から開始し、3月に終了した。

3 障がい児者の地域生活支援の充実

(1) 鶴見区基幹相談支援センターの開設・(鶴見区基幹相談支援センター)

「地域における相談支援の中核的な役割を担う」機関として、市内すべての社会福祉法人型地域活動ホームに『基幹相談支援センター』が開設され、運営がはじまった。主任相談員を中心に、常勤専従相談員を5人（常勤換算上）配置し、障がいのある方の総合相談の実施及び地域の相談支援体制づくりに着手した。

4 市場地域での総合的な支援展開～地域ケアプラザ機能の拡充

(1) 横浜市生活支援体制整備事業の開設

平成28年1月から「介護予防・日常生活支援総合事業」がスタートし、平成29年度までに予防給付のうちの訪問介護・通所介護について、市町村が地域の実情に応じた取組みがされることとなった。

鶴見市場地域ケアプラザでは、生活支援コーディネーター1名を配置し、包括支援センターを中心に「互助」を含めた新しい地域づくりを進めた。

●ワークライフバランスと働きがいのある組織（職場）づくりへの取組み

1 援助職職員の処遇向上等への取組み

(1) 資格手当の増額の実施及び短時間職員時給単価の改善

平成27年度に、一般職員の国家資格等保有者の増加及び処遇向上を目的に、資格手当の増額を行った。平成28年度末での対象者は、21人であった。

また、近年短時間職員の確保が難しくなっているため、新規の職員確保策として時給単価の引き上げを行った。また、継続して契約している職員については、処遇の改善として同様の時給単価の引き上げを行った。

※最低単価：910円⇒950円（神奈川県最低賃金930円）

(2) 育児短時間制度の取得期間の延長

平成27年4月1日から子育て期にある職員が安心して働くことができる環境づくりとして、『育児短時間制度』の取得期間を3歳から就学始期まで延長した。平成28年度の取得者は女性5人であった。

(3) 育児・介護休業等規程の改正

育児・介護休業法が平成28年3月に改正され、平成29年1月から施行され

たことにあわせ、本法人の規程を改正した。これにより、子の看護休暇及び介護休暇の取得単位の柔軟化が図られ、介護休業の分割取得が可能となり、より活用しやすい制度となった。

平成28年度の育児休業取得者は、男性1人、女性1人、介護休業取得者はいなかった。

2 職員の能力開発、モチベーション維持・向上への取組み

(1) 主任・リーダー職を中心とした「職場代表者会議」の開催

今年度より、各事業単位の主任・リーダー職に向け、「法人及び法人を取り巻く情報の共有」「リスクマネージメントの徹底」「事業所間連携の強化」を目的に、標記会議を毎月開催した。法人規模の拡大と共に課題となっている情報の共有、連携等への対応と、「中間としての役割」に同じ立場で悩む職員同士で、具体的な対策・対応について検討することができた。

(2) 行動障がいを伴う自閉症支援の向上への取組み

行動障がいを伴う重度知的障がい者への対応向上のため、外部スーパーバイザー（オフィスぼん；中山清氏）を招いての事例検討会を実施した（年7回）。特に「支援の構造化」における知識、手法等について、援助職員の共通認識をつくることができた。

●事故防止及び苦情対応、虐待防止及び権利擁護への取組み

1 事故防止及び苦情対応への取組み～リスクマネジメント委員会の開催

毎月実施する「職場代表者会議」に『リスクマネジメント委員会』を組み入れ、年度を通じて、主任及び中堅職員の事故防止及びリスク対処能力向上等教育を実施した。

(1) 平成28年度 事故状況 () 昨年度

※説明等

	事故種別	幹	麦の家 江ヶ崎	木の葉	グループ ホーム	こかげ わたげ	コミュニティ ハウス	小計	ゆうづる	計
1	転倒	1(6)	0	1	4	2	0	7(10)	4(10)	12(26)
2	転落	1(0)	0	0	0	1	0	1(0)	0(0)	2(0)
3	他害・自傷 物損等	9(9)	3	1	7	6	0	17(11)	0(0)	26(20)
4	車両事故	6(7)	5	0	0	1	0	6(2)	1(2)	13(11)
5	服薬	2(1)	2	0	1	0	0	3(4)	0(0)	5(5)
6	徘徊・ 行方不明	0(2)	4	1	3	2	0	10(2)	0(0)	10(4)
7	連絡ミス等	8(7)	3	4	4	0	0	11(1)	16(2)	35(10)
8	その他	3(4)	3	2	2	3	0	10(6)	5(7)	18(17)
	合計	30(36)	20	9	21	15	0	65(36)	26(21)	121(93)

- 転倒：利用者が椅子等から立ち上がる際に、発作やふらつきのため転倒し骨折する場合や、路面状況が悪い（濡れていた、スロープ）ために転倒することがあった。
- 転落：利用者がバランスを崩しブロック（高さ 60 cm程度）から転落し骨折したことや、送迎車から降りる際にジャンプして受傷することがあった。
- 他害・自傷、物損等：
利用者が他の利用者・職員をたたく、噛みつくなどの暴力、利用者による職員の眼鏡の破損、施設のガラス・壁等の破損などであった。
- 車両事故：
利用者の送迎等の際に細い道に入った場合や、駐車場内での確認不足などで障害物などに接触し、車両を損傷させたことなどであった。
- 服薬：普段服薬をしていない利用者の臨時薬の確認ミスによる飲み忘れなどであった。服薬については、職員による薬の確認を徹底し、服薬ミス0を目指す。
- 徘徊・行方不明：
利用者の特性で興奮すると飛び出す場合や、職員が目を離した間に出て行った場合があった。
- 連絡ミス等：
利用者や関係機関との連絡ミスで、送迎や訪問をしなかった場合や、関係機関への書類の誤送付、利用者の書類等の渡し間違いなどであった。
- その他：
利用者が偶発的にドアなどに指を挟む、利用者が持っていた飲み物（スープ・お茶など）をこぼし、火傷を負った等であった。

（２）苦情等受付状況について

リスクマネジメント委員会において、苦情内容を「希望・要望」、「請求」、「責任追及」といったレベルに分類し、苦情の内容・背景、対応等を検討した。

苦情等レベル	件数	内容等
希望・要望	—	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者個人の嗜好、選択に関わること（食事の献立、味付け、入浴の順番・温度等） ・ボランティアに対する職員の配慮不足 ・職員のかかわり方（声かけが多い、トイレ介助後の身だしなみ等）
請求	4件	<ul style="list-style-type: none"> ①看護師が、利用者の家族に対し、医師から指示された処置方法以外の処置を繰り返すすめ、家族が混乱している。改めて欲しい。 ②幹のショートステイ等の受付方法を改善してもらいたい（次月の予定を家族としては早く知りたい） ③こどもの二の腕に大きな痣があった。「外出時に何度か倒れこみ、起す際にできた痣」と説明を受けたが不安がある。しっかりと調査し、対応して欲しい。

		④幹のショートステイを予約し、利用日に行ったが、職員の配置がされていなかった。その上、タイムケア利用への変更を依頼され、了承したが対応に納得できない。施設として原因と対策を明らかにして欲しい。
責任追及	1件	職員からサービスにかかる利用料金、高額介護サービス費支給等の説明がない上、それを指摘した際の対応に誠意が感じられなかった。職員の交代、処分を求める。
<p>●対応について</p> <p>利用者及び家族からの苦情等が発生した段階において、迅速かつ丁寧に対応した。福祉・介護の現場における、職員個人～サービス提供システム～組織の風土レベル等の課題を共有することができたが、未然に防ぐ、効果的な対応、システムの構築について、今後検討していきたい。</p> <p>引き続き、いただいた苦情等は積極的に受け止め、迅速な初動対応、丁寧な聴き取り等を行い、サービスの質、人材の育成の向上に結びつけていきたい。</p>		

2 虐待防止、権利擁護の取組み～権利擁護委員会の開催

障がい福祉事業に従事する職員を中心に毎月「権利擁護委員会」を開催し、主に福祉サービス提供場面（食事、入浴、移動等）における主に重度知的障がい者の自己選択等の「意思決定支援」のあり方、人格尊重及び主体性を育む「さん付け」等呼称の徹底について事例検討、アンケート調査・分析等を交えながら援助職全員の意識の統一を図った。

●理事会、評議員会の開催

(1) 理事会開催について

[第1回理事会] 通算71回

日時	平成28年5月22日(日曜日) 午前		
場所	つるみ地域活動ホーム幹 食堂		
出席者	理事	6人(定数8人) ※欠席2人	監事 2人
おもな議事等	① 平成27年度事業報告について ② 平成27年度決算報告及び監事監査報告について ③ セクシュアルハラスメントの防止に関する規程の制定について ④ パワーハラスメントの防止に関する規程の制定について		

[第2回理事会] 通算72回

日時	平成28年8月8日(月曜日) 午後		
場所	鶴見ふれあい館		
出席者	理事	6人(定数8人) ※欠席2人	監事 1人
おもな議事等	① 麦の家2号店(仮称) 厨房機器等購入にかかる契約締結方法等について		

[第3回理事会] 通算73回

日時	平成28年9月7日(水曜日) 午後		
場所	鶴見ふれあい館		
出席者	理事	6人(定数8人) ※欠席2人	監事 1人
おもな議事等	① 麦の家2号店(仮称) 厨房設備機器等購入にかかる契約締結方法等について		

[第4回理事会] 通算74回

日時	平成28年11月20日(日曜日) 午前		
場所	つるみ地域活動ホーム幹 食堂		
出席者	理事	8人(定数8人) ※欠席なし	監事 2人
おもな議事等	① 社会福祉法人大樹定款変更について ② 一般職員就業規則等の改正について ③ 専任職員の賃金・手当に関する細則の改正について ④ 経理規程の改正について ⑤ つるみ地域活動ホーム「幹」改修工事にかかる契約方法等について ⑥ 平成28年度補正予算について		

[第5回理事会] 通算75回

日 時	平成29年2月14日（火曜日）午後		
場 所	リコービル5階 会議室		
出席者	理事	6人（定数8人）※欠席2人	監事 2人
おもな議事等	① 評議員選任・解任委員会運営細則の制定について ② 評議員選任・解任委員の選任について ③ 評議員選任候補者の推薦について ④ 評議員選任・解任委員会の招集について		

[第6回理事会] 通算76回

日 時	平成29年3月25日（土曜日）午前		
場 所	つるみ地域活動ホーム幹 食堂		
出席者	理事	7人（定数8人）※欠席1人	監事 2人
おもな議事等	① 平成29年度事業計画について ② 平成29年度収支予算について ③ 社会福祉法人大樹定款細則の改正について ④ 組織管理規則の改正について ⑤ 役員等報酬規程の制定及び役員報酬及び費用弁償規程の廃止について ⑥ 職員旅費規程の改正について ⑦ 経理規程の改正について ⑧ 専任職員の賃金・手当に関する細則の改正について ⑨ 苦情解決にかかる第三者委員の選任について		

(2) 評議員会開催について

[第1回評議員会] 通算39回

日時	平成28年5月22日(日曜日)午前		
場所	つるみ地域活動ホーム幹 食堂		
出席者	評議員	11人(定数17人) ※欠席6	監事 2人
おもな議事等	① 平成27年度事業報告について ② 平成27年度決算報告及び監事監査報告について ③ セクシュアルハラスメントの防止に関する規程の制定について ④ パワーハラスメントの防止に関する規程の制定について		

[第2回評議員会] 通算40回

日時	平成28年11月20日(日曜日)午前		
場所	つるみ地域活動ホーム幹 食堂		
出席者	評議員	14人(定数17人) ※欠席3	監事 2人
おもな議事等	① 社会福祉法人大樹定款変更について ② 一般職員就業規則等の改正について ③ 専任職員の賃金・手当に関する細則の改正について ④ 経理規程の改正について ⑤ つるみ地域活動ホーム「幹」改修工事にかかる契約方法等について ⑥ 平成28年度補正予算について		

[第3回評議員会] 通算41回

日時	平成29年3月25日(土曜日)午前		
場所	つるみ地域活動ホーム幹 食堂		
出席者	評議員	10人(定数17人) ※欠席7	監事 2人
おもな議事等	① 平成29年度事業計画について ② 平成29年度収支予算について ③ 社会福祉法人大樹定款細則の改正について ④ 組織管理規則の改正について ⑤ 役員等報酬規程の制定及び役員報酬及び費用弁償規程の廃止について ⑥ 職員旅費規程の改正について ⑦ 経理規程の改正について ⑧ 専任職員の賃金・手当に関する細則の改正について ⑨ 苦情解決にかかる第三者委員の選任について		

※ゴシックは規程等の改正

●理事、監事名簿

任期 平成27年11月25日～平成29年11月24日

	氏 名
理事長	山本 一郎
副理事長	橋口 紀枝
常務理事	斉藤 達之
理 事	簡 照子
理 事	栩木 保匡
理 事	長崎 克一
理 事	土谷 又司郎
理 事	成富 正信
監 事	山越 明
監 事	松村 順子

●評議員名簿

任期 平成27年3月28日～平成29年3月25日

	氏 名
評議員	宮本 豊子
評議員	松尾 忠夫
評議員	長谷山 景子
評議員	小笠原 英晃
評議員	河西 英彦
評議員	同前 壮一郎
評議員	成富 正信
評議員	栩木 保匡
評議員	橋口 紀枝
評議員	田代 孝子
評議員	後藤 博史
評議員	晝間 靖裕
評議員	岸本 進
評議員	阿久津 敏
評議員	野崎 和代
評議員	向山 智子
評議員	会田 裕康

1 概況

自閉症、重度知的障がい者が安定した日常生活を送ることができるよう、一人ひとりにあった個別活動プログラムおよび環境面に配慮した支援を実施した。

特に本人、家族、関係機関から得た情報を重視し、わかりやすい、安心できる活動環境を整備し日中活動を提供した。

また、ボールペンの組立を中心とした受注作業と、掃除や食器洗いなどの生活スキル向上プログラムを重点的に行い、一人ひとりの自立（自律）につながる活動支援を行った。

2 実績

(1) 利用状況

①平均年齢 24.9 歳

②平均障がい支援区分 4.7

<上半期>

単位：人／円

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
日数	20 日	19 日	22 日	20 日	19 日	20 日
契約者数	19	19	19	19	18	18
延人数	309	290	356	305	263	286
平均人数	15.5	15.3	16.2	15.3	13.8	14.3
作業収入	37,286	55,918	52,561	48,773	49,848	55,324
平均工賃	1,717	1,611	1,874	1,605	2,906	1,589

<下半期>

単位：人／円

区 分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間計
日数	20 日	20 日	19 日	19 日	20 日	21 日	239 日
契約者数	18	19	19	19	19	19	-
延人数	306	299	301	292	308	309	3,624
平均人数	15.3	15.0	15.8	15.4	15.4	14.7	15.2
作業収入	50,802	48,538	51,790	46,285	52,004	54,273	603,402
平均工賃	1,700	1,574	1,584	1,537	1,621	7,258	24,770

3 重点計画実施状況

(1) 本人を知り、力を活かす活動環境整備

家庭での生活（睡眠状況や食欲、土日の様子など）を記録した「生活記録」と、並行利用先や学校などの外部機関から得た情報を基に、本人の安心に繋がるより具体的な環境整備を実施した。軽作業（企業受注等）を中心に、継続的に取り組むことで、集中力の向上及び、ひとりで取り組めることの広がりにつながる支援を行った。

(2) 専門性ある支援の確立

外部アドバイザーと年7回の事例検討会を実施し、専門的なアドバイスを取り入れることにより、個々の安心に繋がる実践的な支援を行った。課題行動に対し、行動分析を重視し、要因の追及や仮説に基づくチームアプローチを行った。

(3) 行動障がいがある利用者の在宅生活支援の推進

生活記録及び服薬を含めた状況変化の分析を行った。本人を取り巻く環境変化について、分析した結果を家族と共有し、通院時の助言や各機関を利用する際の情報として発信した。

(4) 社会参加と余暇支援

作業で得た工賃を使い、近隣のカラオケボックスに出かける、レストランへ食事に出かける活動を行った。

1 概況

就労支援の具体的な取り組み（ソフトスキル＝あいさつ、身だしなみ、ハウレンソウ・報告、連絡、相談、身の回りの整理、整頓）を重視し支援を実施。

予定より半年遅れたが、従たる事業所として11月に2号店の事業所が開設。12月の店舗のオープンに向け、利用者6人が11月より調理や接客などのトレーニングを開始し、店舗も順調に事業運営ができています。

2 実績

※参照資料・・・「資料1」

3 重点計画実施状況

(1) 目標工賃の達成

2号店が6月開店の予定が、半年遅れたことで予定の売上が伸びず、大幅な増収にはならなかったが、店舗が2店舗に増えたことでは目標工賃を達成する金額を支給することができた。年度末に臨時手当として売上金を還元できた。

1号店麦の家では大幅なりニューアルは、計画どおりにはできなかったが、販売用のユニフォームを2号店開店に合わせ新調した。外部販売では、各事業所や自治会など今まで参加していなかったところへも積極的に参加させていただき、好調な売上げを見せた。

一人当たりの目標工賃月21,000円を超えることができた。

平均工賃は21,163円（昨年度は20,168円）別紙資料1参照

(2) 一般就労への取り組みの強化

特に2号店に移った利用者に対して、開店前の1ヶ月はソーシャルスキルトレーニングまたテキストを用いた研修を実施し、これまで以上の社会人としてまた飲食店の従業員として調理・接客などのトレーニングを実施した。

実際の作業も一人ひとりの役割を明確にしたことで、責任を持つ、周りの状況を見て動くなど行動にも変化が見られるようになり、一人ひとりの成長が感じられた。一方、一般就労への取り組みについては、2号店に移ってからの期間も短く外部機関（ハローワーク等）に出向くなどの支援はできなかった。

1号店に養護学校卒業生2人が新規利用契約となった。これまで継続の利用者と合わせて、それぞれあいさつ、時間を守る、1日を通して作業をする、報告、連絡、相談の徹底、働く上での姿勢、態度等基本的な知識、体力、マナーを獲得できるように支援を行った。

●ヘルパーステーション木の葉【居宅介護事業／移動支援事業／行動援護事業】

1 概況

平成 27 年 9 月に行動援護事業を開始したことで通院介助や移動支援の利用件数・時間数は共に減少した。平成 28 年 4 月以降は、各事業の利用件数・時間数は横ばいである。利用希望は多くあってもヘルパー不足などにより応え切れていない状況。利用者支援については、本人や家族の変化や希望に対応できるよう、昨年同様、相談事業や自立生活アシスタント、関係機関との協力・連携を継続して行った。

2 実績

(1) 居宅介護（家事援助/身体介護）

() : 昨年度

	利用件数 (件)	増減	利用時間数 (時間)	増減
上半期	786 (868)	▲82	892 (1,023)	▲131
下半期	721 (883)	▲162	872 (1,054)	▲182
年間	1,507 (1,751)	▲244	1,764 (2,077)	▲313

(2) 移動支援

() : 昨年度

	利用件数 (件)	増減	利用時間数 (時間)	増減
上半期	582 (830)	▲248	1,596 (2,606)	▲1,010
下半期	664 (582)	82	1,584 (1,847)	▲263
年間	1,246 (1,412)	▲166	3,180 (4,453)	▲1,273

(3) 行動援護

() : 昨年度

	利用件数 (件)	増減	利用時間数 (時間)	増減
上半期	356 (38)	318	1,029 (146)	883
下半期	357 (336)	21	1,011 (839)	172
年間	713 (374)	339	2,040 (985)	1,055

3 重点計画実施状況

(1) 本人の重度化、家族の高齢化への支援強化

家族の高齢化に伴い、ご本人の生活環境にも変化が生じているため、関係機関や家族、ヘルパーとのやり取りをこまめに行うことで、本人や家族の状況を把握する機会を増やし、状況に合わせて迅速に対応した。また、ご家族が入院や死去などにより大きな変化が起こる前に、ケアマネージャーや後見人、ケースワーカーと連携をとり、ご家族が元気なうちに短期入所や入所施設の見学、通所や居宅サービスの拡充等を検討している。

(2) 行動援護事業の拡充

平成 29 年 3 月時点で契約者数は 18 人（平成 27 年 9 月比+5 人）となり、引き続き利用者からのニーズは多く挙がっている。また、ヘルパーの確保、高齢化や経験不足等の課題はあるも、対応場面毎の具体的な支援手順書を作成することで安定的なサービス提供ができるよう工夫した。新たな人材確保は依然課題である。

●障がい者後見的支援室「りんくるつるみ」【横浜市障害者後見的支援推進事業】

1 概況

平成 25 年 2 月に第二期横浜市障害者プラン『将来にわたるあんしん施策』による障害者後見的支援推進事業の運営を横浜市より受託し 4 年が経過（登録者 85 人）。

18 歳以上の障がいがある方と家族が住みなれた地域で安心して暮らすことができるよう、地域住民等の協力による見守りネットワークの構築や生涯に渡る支援者との関係性を見据えた定期的訪問の実施、横浜市社会福祉協議会障害者支援センター（推進法人）との支援チームの形成等の充実を図った。

2 実績

(1) 登録者状況

登録者数平成 29 年 3 月 31 日時点

() : 昨年度 単位 : 人

登録者数	内新規	終了	終了事由
85 (75)	12 (22)	2 (1)	市外転居、長期施設入所

(2) 登録者内訳

①性別 男性 51 人（昨年度 48 人）、女性 34 人（昨年度 27 人）

②年齢層

() : 昨年度 単位 : 人

10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳以上
1 (1)	40 (37)	19 (16)	17 (13)	6 (6)	2 (2)

③その他

() : 昨年度 単位 : 人

障がい	世帯		所属		主たる介護者		
知的	77 (69)	単身	5 (5)	一般就労	21 (17)	40～	3 (5)
内重複	10 (7)	母子	20 (22)	福祉就労	52 (49)	50～	32 (27)
身体	3 (3)	父子	3 (4)	在宅	10 (8)	60～	28 (24)
精神	2 (1)	GH 入居	5 (3)	その他	2 (1)	70～	11 (9)
重心	3 (2)	その他	52 (41)			80～	6 (5)
						単身者	5 (5)

昨年に引き続き、10～20 代の登録者が 5 割近くを占めた。また、一般就労している登録者の数も増加傾向にある。今すぐ解決すべき課題がない方からの将来にむけた相談が必要とされていることがわかった。

(3) 支援方法

単位 : 件

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
訪問	30	27	28	30	34	35	35	32	40	37	37	41	406
来所	25	32	24	25	33	35	36	33	28	33	34	37	375
その他	1	1	1	2	1	2	2	3	3	0	3	1	20
合計	56	60	53	57	68	72	73	68	71	70	74	79	801

その他には、ケースカンファレンス、他機関支援者との情報共有等の件数を計上した。

(4) 制度周知活動

(): 昨年度 単位: 件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
当事者 /家族	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3 (3)
地域	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	4 (1)
支援 者	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2 (8)
合計	0 (1)	0 (0)	2 (2)	2 (2)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (1)	2 (4)	9 (12)

(5) あんしんキーパー状況 (実人数)

(): 昨年度 単位: 人

地域あんしんキーパー	支援者あんしんキーパー
40 (35)	11 (10)

3 重点計画実施状況

(1) 制度・事業の周知

鶴見区福祉保健センターのケースワーカーに制度の周知、ならびに支援の実施状況を報告する機会を設けた。その結果、5名が制度の登録につながった。また、当事者へ向けたワークショップを通じて、制度を紹介した。

その他、障がいがあってもなくても誰もが安心して暮らせる地域づくりを目的とし、民生委員・地域の方へ、制度の周知ならびに障がい理解を深める勉強会を実施した。

(2) 成年後見制度の利用促進

母子・父子家庭、高齢化の進む家族に向けて、成年後見制度の情報提供（勉強会・研修会を含む）を行った。具体的に利用検討中の方には、あんしんセンターの弁護士相談につなぎ、成年後見制度の理解を深める場を提供した。

また、昨年引き続き、地域で後見人活動を行っている社会福祉士等と連携し、障がいのある当事者・家族の地域生活の課題について情報共有を行った。

(3) 人材育成

日々の面談で登録者・家族が話される内容（例えば、「成年後見制度」、「信託」、「性について」等）について深められるようテーマを選び、内外研修を受講した。

●鶴見区基幹相談支援センター

1 概況

平成28年4月から「地域における相談支援の中核的な役割を担う」機関として、市内すべての社会福祉法人型地域活動ホームに『基幹相談支援センター』が開設され、運営がはじまった。

鶴見区では、主任相談員を中心に、5人の専従相談員（常勤換算）を配置。また、下記5つの主たる業務について担当職員を設定し、区福祉保健センター、精神障害者生活支援センター等とのさらなる連携強化のもと、3障がい一体の相談支援を実施した。

2 基幹相談支援センターの主たる業務

- (1) 総合的・専門的な相談支援の実施（24時間365日）
- (2) 地域の相談支援体制の強化への取組み
- (3) 地域移行・地域定着促進への取組み
- (4) 権利擁護・虐待防止の取組み
- (5) その他地域の状況に応じた独自の取組み

3 実績

(1) 総合的・専門的な相談支援

基幹相談支援センターの中核的な業務として、24時間365日の相談支援業務を実施した。3障がいの相談対応を柱とした相談窓口の拡充により、相談件数が増加した。

①障がい種別相談者数

() : 昨年度 単位：人（実人数）

	新規	88 (68)	年齢	障 害					
				身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	高次脳機能障害	発達障害
			未就学(0~6歳)	0	0	1	0	0	0
			就学 (7歳~18歳)	2	2	11	0	0	0
			成人(19歳~)	11	1	48	8	2	2

	継続	195 (159)	年齢	障 害					
				身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	高次脳機能障害	発達障害
			未就学(0~6歳)	0	0	1	0	0	0
			就学 (7歳~18歳)	3	0	21	0	0	4
			成人(19歳~)	12	2	140	7	3	2

②月別相談件数

3障がいの中なかでも、本人の行動上の課題やご家族の高齢化を背景とした「知的障がい者」からの相談が多く占めた。相談内容に関しては、福祉サービスの利用（ヘルパー、短期入所事業等）、医療・健康に関する相談が多く寄せられた。

	総合的・専門的相談													
	障がい別（実数）			相談内容										
	知的	身体 ※1	精神 ※2	サービス 利用	障害 症状	医療 健康	不安 情緒	保育 教育	家族 人間	家計 経済	生活	就労	社会 余暇	権利 擁護
4月	98	12	6	271	19	57	32	15	21	5	24	18	4	0
5月	108	12	8	288	15	56	41	16	24	14	45	44	7	2
6月	103	12	10	304	25	75	50	17	19	6	34	31	14	3
7月	102	12	8	290	28	75	38	14	21	8	41	46	16	2
8月	107	15	10	267	29	95	46	13	36	11	54	44	21	3
9月	113	13	9	318	31	108	49	26	28	11	52	30	13	1
10月	110	15	10	267	30	120	55	31	23	10	35	23	18	1
11月	117	14	12	312	32	116	44	33	35	8	55	25	20	6
12月	111	14	14	245	50	106	50	27	28	5	75	38	16	1
1月	125	13	15	252	38	79	46	13	24	8	65	32	9	2
2月	137	15	16	309	38	102	54	20	27	6	89	32	24	3
3月	136	24	17	383	42	133	57	13	26	21	68	23	27	2
合計	1367	171	135	3506	377	1122	562	238	312	113	637	386	189	26
※1 重症心身障がい含む														
※2 高次脳機能障がい、発達障がい含む														

③相談方法及び対応

全体的に件数が増加した。特に自宅での生活、福祉サービスの利用場面を通じて本人、家族の生活状況や課題の聴き取り等を重視していた結果、訪問による相談が増加した。

（ ）：昨年度 単位：延件数

来 所	586(483)
訪 問	1263(978)
メール・FAX	270(409)
電 話	5415(4187)
合 計	7534(6057)

() : 昨年度 単位：延件数

聴き取り	3187(2480)
説明・助言・情報提供	122(109)
申請取次ぎ	25(8)
他機関等連絡・調整	2415(2081)
個別支援会議	167(97)
苦情対応	4(1)
その他	59(68)
合 計	5979(4844)

(2) 地域の相談支援体制の強化の取り組み

①地域の相談支援事業者支援の実施

ア 鶴見区自立支援協議会；相談部会による支援の実施

区福祉保健センター、精神障害者生活支援センター等との連携のもと、地域の相談支援機関（指定特定相談事業者等）に対し、鶴見区自立支援協議会；専門部会に設置される『相談部会』への参画を呼びかけ、相談支援の向上を目的とした事例検討、研修会等を開催した。

イ 区域における計画相談支援の向上と普及

上記、相談部会において、「サービス等利用計画」の作成に従事する相談支援専門員に対し、事業所訪問による技術支援、課題の聴き取り等を行った。計画相談支援の普及については、今年度、新たに指定特定相談事業者が三カ所開設されたが、事業経営、人材の確保・質の向上等に大きな課題があり、横浜市、他区基幹相談支援センターと共に、市域レベルでの検討・協議を行った。

※<相談部会実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研修会				○		○				○		○
事例検討	○		○		○		○		○		○	
事業所訪問		○										

②地域の相談機関等との連携強化の取り組み（連携会議の開催等）

ア 鶴見区自立支援協議会及び専門部会の運営

鶴見区の地域状況等の把握・分析を行い、地域課題の解決に向け、鶴見区自立支援協議会を開催し、ネットワークを活用した解決策の共有、検討を行った。主な地域課題の検討、共有については、<相談><権利擁護><地域生活支援>の専門部会において実施した。

※開催状況

開催状況	会 議		実 施	回数
		代表者会議	5月	1 (1)
		担当者会議	6月・11月・3月	3 (4)
	専門部会	相 談	4月・5月・6月・7月・8月・9月・10月・11月・12月・1月・2月・3月	12 (12)
		権利擁護	4月・6月・8月・10月・12月・2月	6(6)
		地域生活支援	4月・6月・8月・10月・12月・2月	6(6)

イ 定例カンファレンスの開催実施

区域の主要相談機関である基幹相談支援センター、区福祉保健センター、精神障害者生活支援センターが、それぞれの役割、強みを活用しながら「個別の相談支援（新規、支援困難ケース等）」や「地域づくり」の強化を目的に、定期的に集まり「定例カンファレンス」を開催した。

※開催状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
知的身障	○	○		○		○		○		○	○	○
精神障がい	○		○		○		○		○			

(3) 地域移行・地域定着の促進の取り組み

障がい児者の地域生活を実現・継続するため、精神障害者生活支援センターが実施する退院サポート事業等と協働し、地域住民に対する普及啓発や理解促進、地域人材の発掘・養成等、障がい児者と家族にとって住みやすい地域をつくることを目的に研修、講座等を実施した。

また、精神科単科病院の見学や区内入院病床のある病院を訪問し、地域への移行、定着に関する課題を中心に聴き取りを行った。

開催月	内 容	対象者
平成 28 年 11 月	精神障がいのある方の相続・成年後見制度等について	地域住民等
平成 29 年 3 月	認知症とその他の精神疾患の違いについて	介護保険関連事業に従事する職員(ケアマネジャー、包括支援センター、ヘルパー等)
平成 29 年 3 月	ドキュメンタリー映画『あい』～精神障害と向き合って上映会 主催：鶴見区高齢・障害支援課	鶴見区民、区内在勤者、区内福祉従事者等

(4) 権利擁護・虐待の防止

障がい児者に対する虐待の早期発見や予防・防止、成年後見制度の利用促進、地域で暮らす障がい者の権利侵害の予防や対応について、関係機関等とともに検討、共有を行った。

今年度は、鶴見区成年後見サポートネットに参加し、障がいのある方の成年後見制度に関する事例検討を行った。

また、自立支援協議会に設置する「権利擁護部会」においても、「当事者の意思決定支援」を主に参加機関と共に事例検討及び研修会を開催した。

(5) その他地域の状況に応じた独自の取り組み

鶴見区の地域課題である障がい児及び障がい児通所関連事業所の増加という状況を踏まえ、家族、事業所を対象としたピアカウンセラーを講師とした研修等を行った。

開催月	内 容	対象者
平成 28 年 11 月	障がい児を育てるピアカウンセラーを招き、子どもたちの成長・発達に関する不安、悩みの共有を行った。	放課後等デイサービスを利用する知的障がい等がある児童の保護者
平成 28 年 12 月	同 上	放課後等デイサービスを利用している発達障がいをもつ児童の保護者
平成 29 年 2 月	ピアカウンセラーと共に障がい児を育てる家族の不安、悩みを共有し、事業所でのより良い対応について一緒に考える。	障がい児通所関連事業所に従事する職員
平成 29 年 2 月	『見方を変えればうまくいく！ 発達が気になる子の子育てリフレーミング』 講師：星槎大学 准教授 阿部敏彦	発達の気になるお子さんを持つ保護者・福祉関係者等

3 重点計画実施状況

(1) 区内における相談支援体制の再構築・整備

定例カンファレンスを活用し、区福祉保健センター、精神障害者生活支援センターとの3機関連携を図った。困難ケースについて

新規指定特定相談支援事業所が、3事業所開設し、事業所への訪問や、個別ケースへの同行、カンファレンスの参加を行った。相談支援に関する基本および、専門的な知識、視点について、助言を行った。

(2) 権利擁護・虐待の防止

権利擁護部会を活用し、権利擁護に関する事例検討や勉強会を実施した。

鶴見区成年後見サポートネットの参加を通して、区内で成年後見業務を行う社会福祉士等専門職のネットワークづくりを行った。

(3) 学齢障がい児に関する相談への対応の強化

区独自の取り組みとして、放課後等デイサービスの保護者、事業者を対象に、ピアカウンセラーによる座談会を実施した。また、個別にてピア相談を実施。子育てに悩む保護者の思いを、ピアの視点で受け止め、助言をしていただいた。

●つるみ地域生活支援センター

【①指定特定相談支援事業】

1 概況

障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービスの利用、調整等に関して相談支援（計画相談支援）を実施した。

計画相談支援の基本となる「サービス等利用計画」の作成については、計画作成を担う相談支援専門員の増員ができず、目標としていた件数（60件）を実施することができなかった。

2 実績

(1) 契約者状況

	指定特定相談事業所							
	契約者数					モニタリング件数		
	新規	障害者計		障害児計				
4月	1	(0)	25	(0)	0	(0)	6	(5)
5月	2	(1)	27	(18)	0	(0)	2	(4)
6月	1	(1)	28	(19)	0	(0)	2	(2)
7月	0	(2)	27	(21)	1	(0)	3	(1)
8月	0	(2)	27	(23)	1	(0)	7	(4)
9月	0	(1)	27	(24)	1	(0)	9	(11)
10月	0	(0)	26	(24)	1	(0)	4	(4)
11月	0	(0)	26	(24)	1	(0)	6	(6)
12月	0	(0)	26	(24)	1	(0)	1	(5)
1月	0	(0)	26	(24)	1	(0)	2	(2)
2月	0	(1)	26	(24)	1	(0)	4	(4)
3月	0	(2)	26	(26)	1	(0)	10	(10)
合計	4	(10)	317	(251)	9	(0)	56	(58)

【②知的障がい者自立生活アシスタント事業】

1 概況

障がいがある方が地域の協力を得ながら、本人らしく自立した生活ができることを目指し、相談・助言・情報提供・コミュニケーション支援等を行った。

主に知的障がいのある単身者、または一緒に暮らしているご家族の高齢化・病気・障がいなどで、日常生活の支援を受けることが難しい障がいのある方を対象とし、支援を行った。

2 実績

(1) 登録者状況

(): 昨年度 単位: 人

登録者数	新規	終了	終了事由
30(32)	3(2)	5(5)	生活の安定による終了 1(1) 家族との同居 0(0) 他区アシスタントへの移行 0(0) 支援内容の再検討 2(1) 入院による終了 0(2) 本人の意向による終了 0(1) 区外への転居 2(0)

(2) 新規登録者内訳

(): 昨年度 単位: 人

性別		住居		障害		年代		日中		支援頻度	
男	0(1)	単身	3(2)	A 1	(0)	20～	2(1)	在宅	0(0)	週1回以上	(0)
女	3(1)	家族	0(0)	A 2	(0)	30～	0(1)	就労	3(2)	1回/2週以上	2(2)
		世帯	0(0)	B 1	1(0)	40～	0(0)	施設	0(0)	1回/月以上	1(0)
				B 2	2(2)	50～	1(0)			必要時	(0)
				なし	(0)	60～	0(0)				
計	3(2)	計	3(2)	計	3(2)	計	3(2)	計	3(2)	計	3(2)

(3) 登録者内訳

(): 昨年度 単位: 人

性別		住居		障害		年代		登録年数		日中		支援頻度	
男	13 (15)	単身	18(18)	A1	0(0)	20	4(4)	5年以上	13 (13)	在宅	6 (5)	週1回以上	6(6)
女	17 (17)	家族	4(4)	A2	4(5)	30	9 (10)	3年以上	9(9)	就労	10 (11)	半月に1回	22 (18)
		世帯	7(10)	B1	10 (11)	40	8(9)	1年以上	5(8)	施設	14 (16)	1ヶ月に1回	2(6)
		他	1(0)	B2	15 (15)	50	6(5)	1年未満	3(2)			必要時	0(2)
				なし	1(1)	60～	3(4)						
計	30 (32)	計	30 (32)	計	30 (32)	計	30 (32)	計	30 (32)	計	30 (32)	計	30 (32)

(4) 支援方法

() : 昨年度 単位 : 件

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	26	28	21	23	33	14	28	20	16	26	25	26	286(266)
電話	129	178	215	204	222	148	210	221	243	192	228	237	2,427(2,313)
訪問	102	76	71	74	68	65	68	90	108	92	72	78	964(759)
同行	100	71	96	102	98	90	95	113	89	104	108	108	1,174(901)
合計	357	353	403	403	421	317	401	444	456	414	433	449	4,851(4239)

(5) 支援内容

() : 昨年度 単位 : 件

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心理情緒	70	73	89	127	107	87	164	122	120	118	120	141	1,338(966)
医療健康	66	88	95	104	104	98	519	112	110	107	92	105	1,600(811)
消費生活	87	77	99	91	122	84	131	96	104	94	111	111	1,207(750)
就労	38	60	87	90	86	79	102	91	84	89	103	124	1,033(536)
衣食住	62	89	101	121	122	71	61	116	130	124	150	153	1,300(1029)
対人	12	23	13	16	24	20	21	16	14	9	39	83	290(64)
制度	28	30	29	33	25	20	25	20	19	28	31	36	324(323)
所属施設利用	2	1	0	0	2	0	2	3	0	3	14	4	31(26)
機関連携	106	146	159	169	125	101	189	173	173	167	168	175	1,851(1746)
余暇支援	2	0	0	3	3	1	2	1	1	2	4	1	20(86)
合計	473	587	672	754	720	561	1216	750	755	741	832	933	8,994(6337)

3 重点計画実施状況

(1) 関係機関との協働

アシスタントが積極的に、病院や通所先、ヘルパー事業所等の関係機関と情報共有することで、各機関がそれぞれの役割分担を意識してもらうことを心掛けた。また、日々の関わりの中から、本人が気づいていない必要生活課題(服薬管理ができない、部屋の掃除が不十分等)を一緒に考え、本人の気づきを促した。それに伴い、訪問看護の導入を2件、居宅介護ヘルパーの導入を2件実施した。

(2) 当事者勉強会を年3回実施

「健康運動体操」では外部講師に依頼し、ヨガ教室を開催。自宅でもできるストレッチのやり方等を学んだ。「もしもお金が無かったら」では、計画的にお金を使う必要性と、貯金の重要性を学ぶ機会を設けた。「安くて簡単料理教室」では、自宅で手軽にできる鍋料理の調理方法を学んだ。

(3) 支援の振り返り・対応力の向上のため、他のアシスタント事業所との勉強会を実施

偕恵いわまワークス・地域生活支援センター南海・自立サポートセンター歩を訪問し、支援方法や地域の特徴について情報交換を行った。また、精神障害者生活支援センターとの勉強会・家庭訪問を6回実施した。ケースの共有や相談をしながら、お互いの利用者訪問の同行を実施した。知的障害と精神障害の特徴や違いを再確認するとともに、支援の共通点も知り、今後の支援に活かせる気付きを得た。

●つるみ地域活動ホーム幹

【①日中活動支援（生活介護事業／地域活動支援センター事業デイサービス型）】

1 概況

（1）生活介護事業

障がい支援区分3以上（50歳以上の方は2）の利用者に対し、一人ひとりの障がい特性、年齢、健康状態等に合わせたサービスを提供した。

4月に1人の養護学校高等部卒業生の受け入れを実施した。また、年度途中に新規利用者1人の受け入れを実施した。

市内入所施設への長期入所1人、転居により2人の契約解除があった。

（2）地域活動支援センター事業（デイサービス型）

主に障がい支援区分1～2の利用者に対し、一人ひとりの障がい特性、年齢、健康状態等に合わせたパン製造、販売を実施。また、創作活動や余暇活動についても、利用者の意見を反映しながら実施した。

障がい支援区分変更により3人が生活介護へ契約変更した。

2 実績

（1）利用状況

①生活介護事業

定員40人。平均利用者数は40.9人（27年度39.0人）

（ ）：昨年度 単位：人

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
日数	21(22)	19(18)	22(22)	21(23)	19(18)	22(22)
契約者数	69(73)	70(73)	69(72)	68(72)	67(71)	68(71)
延人数	842(877)	804(751)	933(873)	839(926)	786(724)	887(829)
入浴数	49(45)	45(46)	45(47)	49(48)	47(43)	43(46)
送迎数	1,160 (1,060)	1,121 (922)	1,304 (1,041)	1,164 (1,127)	1,120 (883)	1,272 (1,008)
平均人数	40(40)	42(42)	42(40)	39(40)	41(40)	40(38)

（ ）：昨年度 単位：人

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
日数	21(22)	22(21)	20(20)	20(20)	20(21)	22(22)	249(251)
契約者数	69(70)	69(70)	69(70)	69(70)	69(72)	69(68)	-
延人数	868(838)	903(834)	823(783)	799(721)	834(813)	894(830)	10,212 (9,799)
入浴数	48(37)	47(44)	36(46)	51(40)	44(50)	41(43)	545(535)
送迎数	1,205 (1,016)	1,257 (995)	1,156 (951)	1,099 (897)	1,164 (1,018)	1,254 (1,035)	14,276 (11,953)
平均人数	41(38)	41(40)	41(39)	40(36)	42(39)	41(38)	40.9(39)

②地域活動支援センター事業デイサービス型

定員 10 人。平均利用人数は 1.1 人（27 年度 2.2 人）

（ ）：昨年度 単位：人

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
日数	21(22)	19(18)	22(22)	21(23)	19(18)	22(22)
契約者数	4(5)	3(5)	3(5)	3(5)	3(5)	2(5)
延人数	40(52)	20(42)	24(51)	23(53)	17(44)	25(48)
入浴数	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
送迎数	40(54)	0(48)	0(60)	0(52)	0(48)	0(54)
平均人数	2(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)

（ ）：昨年度 単位：人

区 分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間計
日数	21(22)	22(21)	20(21)	20(20)	20(21)	22(22)	249(251)
契約者数	2(5)	2(5)	2(5)	2(5)	2(4)	2(4)	-
延人数	20(52)	19(42)	16(46)	20(45)	19(43)	21(43)	264(561)
入浴数	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
送迎数	0(54)	1(42)	0(54)	0(46)	0(38)	0(42)	41(592)
平均人数	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1.1(2.2)

(2) 主な活動内容（4つのグループによる活動の実施）

①ミント

利用者の重度・高齢化を踏まえ、個々の体調に合わせた活動を提供することで、安定した通所につながるよう努めた。

畑作業には継続して、一人ひとりの特性やペースに合わせた参加の仕方を検討しながら提供することで、野菜の栽培や販売を通じて四季を感じることや生産性のある活動機会とした。また、運動機会やリラクソプログラムでのストレッチなど、身体機能の維持に努めた。

また、1日外出やランチ外食を通じて社会参加の機会を提供した。

4月に養護学校高等部卒業生1人の受け入れを実施した。

②クローバー

自閉的傾向をもつ利用者が多いというグループ特性に伴い、個々の利用者が見通しを立てやすい作業プログラムを軸とした支援に努めた。

ボールペンなどの受注作業を定期的に提供し、作業工賃の還元としての1日外出や外食機会を実施することで個々の利用者の意欲の向上や社会参加を図った。また、アロマキャンドルなどの新たな製品作りに着手した。

年度途中に地域他事業所への通所が困難になっている方1人の並行利用での受け入れを実施した。

【ミント・クローバーの具体的な活動内容】

創作：貼り絵、ランプシェード制作、アルバム作り、エコバック作り

余暇：カラオケ、DVD鑑賞、お茶会

運動：散歩、ボウリング、ボッチャ、体操、歩行機能訓練

作業：ぱど・福祉つるみ配布、畑作業（野菜、ミントづくり）、缶つぶし、ボールペン、ゴム製品のバリ取り、犬用クッキー作り、アロマキャンドル作り

外出：1日外出、ランチ外出、公共交通機関の利用

③ドナルド

重度重複障がいをもつ利用者のグループのため、個々の体調に合わせた活動内容を提供することで無理なく安心して過ごせるよう支援した。

身体機能の維持のため、理学療法士による訓練や助言を通じた日々のストレッチの機会を提供した。また、調理や創作などの活動の他、社会参加の機会として「デザート外出」「ランチ外出」「ディズニー外出」について、看護師同行のもと安全に配慮しながら実施した。

【ドナルドの具体的な活動内容】

ストレッチ、散歩、コラージュ制作、アロマキャンドル作り、デザート調理

④パン工房

パンの製造・販売を通して、やりがいや目標をもって活動できるよう支援した。また、パン作りの工程に直接的に参加することが難しい方にとっても、個々の特性に応じた役割を担っていただくことで、仲間作りなどの場となるように取り組んだ。外出先などについて、メンバー同士での話し合いの機会を持つことで、一人ひとりの主体性を育む支援に努めた。

【パン工房の具体的な活動内容】

作業：パンの製造・販売・仕込み・材料の買出し、喫茶みき

運動：体操、散歩

創作：季節を感じる飾りつけ、キーホルダー製作

外出：一日外出、ランチ外出、デザート外出

3 日中活動の重点計画実施状況

(1) 法人型地域活動ホームの日中活動支援の役割・機能の強化

地域での安定した生活を継続していけるよう、相談支援・後見的支援・グループホーム・ヘルパー事業所との情報共有、支援方針の検討等の連携の機会を持った。また、短期入所先への訪問による介助方法の引継ぎや情報提供支援を実施した。

計画相談支援との連携について、日常的な情報共有やサービス担当者会議への参加等の連携を実施した。

(2) 権利擁護支援の徹底

権利擁護委員会を中心に年齢に相応しい呼称や障がい特性に応じた適切な接し方について、グループ会議を通じて定期的に振り返りを実施した。また、日々の援助場面でのかかわりについて「支援者振り返りチェックシート」を実施し、権利擁護意識の向上を図った。

意思決定支援についての事例を交えた研修会を実施し、知的障がいの当事者への意思決定支援のあり方について、学びを深めた。

(3) 車両による送迎体制の強化

家族や本人の高齢化や障がいの重度化により高まり続ける送迎ニーズに対して、新規車両を導入することで送迎サービス提供可能数の増加を図った。また、送迎ルートや座席の組み合わせの見直し、再検討を実施した。結果として、前年度に比べて1,772件増やすことができた。

【②タイムケア・ショートステイ事業】

1 概況

利用される本人・家族にとって安心して過ごせる場となるよう努めた。特に緊急時（ご家族の入院、通院、冠婚葬祭等）の希望は必ず受けることに重点を置き、計画的なショートステイの利用についても受入れすることができるよう職員体制を組んだ。

2 実績

(1) 登録者数

登録者数は608人（27年度583人）

*新規登録者は38人（27年度44人）

(2) 利用者数

《タイムケア》 (): 昨年度 単位: 件

	28年度	増減
利用数(件)	1,969(2,035)	▲66

*緊急利用: 117 (138)

《ショートステイ》 (): 昨年度 単位: 泊

	28年度	増減
利用数(泊)	778(706)	72

*緊急利用: 27 (24)

3 重点計画実施状況

(1) 緊急時の受入れ強化及び登録の推進（職員体制の構築、事業の周知・広報）

家族の入院や通院、冠婚葬祭などによる利用が円滑に受け入れられるよう職員体制の構築、配置を実施した。また、緊急時に安心して利用することができるよう区役所や相談支援事業、関連機関との情報共有について、必要に応じて実施した。

おもちゃ文庫事業等を通じた周知を実施し、結果として登録、利用が増加した。

(2) 安全な過ごし、宿泊支援の推進

特に学齡児で行動に配慮が必要な方の宿泊について、放課後等デイサービス事業所や相談支援との連携を図り、障がい特性に応じた安全、安心な過ごしが提供できるよう努めた。

【③おもちゃ文庫事業／余暇活動支援事業／地域交流事業】

1 実績

(1) おもちゃ文庫事業

《利用者数》 () : 昨年度 単位 : 人

利用者数	4,395(4,595)	▲200
子ども(障)	265(210)	55
保護者(障)	249(186)	63
子ども	2,152(2,322)	▲170
保護者	1,729(1,877)	▲148

《子育て相談》 () : 昨年度 単位 : 件

対人関係・社会性・家族関係	6(4)	2
自己主張・反抗	4(5)	▲1
発育・食事・生活リズム	12(13)	▲1
分離不安・情緒不安	10(6)	4
幼稚園選択・園(学校)生活	24(19)	5
発達の不安・障害関係	67(50)	17
親自身の相談	13(19)	▲6
その他	5(4)	1
合計	141 (120)	21

《子育て支援を主とした講座/プログラム》

日程	プログラム名	内容	参加人数
6月25日 (土)	くるみカフェ	ST/OT勉強会 くるみの木登録保護者対象	親 8人 託児 6人
7月4日 (土)	FUNFUN どんぐり	母—ネイルアート 子ども—体操のお兄さんと遊ぼう	親 5人 障がい児 7人 兄弟児 1人
7月18日 (土)	ST相談	横浜療育医療センター ST上野氏	親 6人 障がい児 5人 兄弟児 1人
11月13日 (日)	くるみカフェ	ST/OT勉強会 くるみの木登録保護者対象	親 10人 託児 10人

10月9日 (日)	ST相談	横浜療育医療センター S T上野氏	親 3人 障がい児 3人
11月19日 (土)	FUNFUN どんぐり	親子ヨガ、母一ヨガ 子ども一工作 (けん玉、クリスマスカード)	親 6人 障がい児 6人 兄弟児 1人
2月26日 (日)	くるみの木講演会 (鶴見区自主事業)	「発達気になる子の子育て リフレーミング Part 2」 星槎大学准教授 阿部利彦氏	一般 48人 職員 20人 託児 9人

(2) 余暇活動支援事業

年間15回開催し、延べ65人参加。未就学児から成人までの幅広い年齢層の参加者が楽しめるような活動内容を提供した。

実施内容	対象者	回数	参加人数
外出 (野球観戦、スカイツリー、 水族館など)	小学生～成人	7	29人
サマーフレンド(プール)	小～高校生	2	8人
水遊び	未就学(4～6歳)	2	12人
調理	小～高校生	2	7人
ボウリング	小～高校生 成人	2	9人

(3) 地域交流事業 (イベント等の活動)

イベント・活動名	開催日	参加者(人)	内容
みきっずまつり	5月7日(土)	268人	歌と演奏、チアダンス、 子どもボランティア縁日
幹夏祭り	8月6日(土)	約500人	ハワイアンダンス、模擬店

【④28年度 幹運営委員会報告】

つるみ地域活動ホーム幹の運営委員会は、予定通り3回開催した。

〔第1回運営委員会〕通算48回

日時	平成28年6月10日（金曜日） 午前10時00分～11時30分	
場所	つるみ地域活動ホーム 幹 地域交流室	
出席者	委員	14人（定数16人）
おもな議事等	① 平成27年度つるみ地域活動ホーム幹の事業報告 ② 平成27年度決算報告・監事監査報告について ③ その他報告（夏祭りについて）	

〔第2回運営委員会〕通算49回

日時	平成28年12月8日（木曜日） 午前10時00分～12時00分	
場所	つるみ地域活動ホーム 幹 地域交流室	
出席者	委員	9人（定数16人）
おもな議事等	① 平成27年度上半期事業報告 ② 任期満了に伴う運営委員の改正について ③ その他報告（指導監査及び実地指導の報告、第2期中期業務行動計画について）	

〔第3回運営委員会〕通算50回

日時	平成29年3月23日（木曜日） 午前10時00分～11時30分	
場所	つるみ地域活動ホーム 幹 地域交流室	
出席者	委員	11人（定数16人）
おもな議事等	① 運営委員会新体制報告及び規約の改正について ② 役員の改正について ③ 平成29年度事業計画及び予算について	

1 概況

平成 29 年 1 月に既存ホーム「けやきハイツ」の賃貸借契約満了に伴い入居者からヒヤリングを行った結果契約延長することとなった。重度化・高齢化への対応策として、世話人を中心に延べ 5 人が「強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）」の受講やダウン症の勉強会を開催するなど職員育成に取り組んだ。

また関係機関と連携し 2 人の入居者の単身移行の支援ができた。

2 実績

(1) 入居状況 (3 月末)

①定員 43 人 / 入居者 38 人

単位：人

共同生活住居 名称	定員	入居
1 檜の木ハイツ	5	5
2 楠の木ハイツ	5	4
3 けやきハイツ	6	6
4 さくらの木ハイツ	5	4
5 寺谷ホーム 1 号館 (ももの木ハイツ)	5	4
6 寺谷ホーム 2 号館 (くりの木ハイツ)	6	5
7 ゆずの家	6	5
8 かりんの家	5	5
合計	43	38

②新規入居 : 1 人

③退去 : 単身移行 2 人 / 逝去 1 人 / 自宅 1 人

(2) 入居者の概要 (3 月末)

①入居者 38 人 (定員 43 人)

②男女比 男性 22 人 : 女性 16 人

③年齢層 21~71 歳 (20~39 歳 21 人、40~59 歳 10 人、60 歳以上 7 人)

④平均年齢 42 歳

⑤平均障がい支援区分 3.58 (昨年度 3.51)

(): 昨年度 単位：人

区分	1	2	3	4	5	6	合計
共同生活援助	0(2)	11(10)	9(9)	6(8)	9(9)	3(3)	38(41)

(3) 主な日中活動先 (重複あり)

(): 昨年度 単位: 人

生活介護	地域活動 支援C	作業所	就労支援	就労	介護保険 サービス	求職中	合計
13(14)	1(1)	5(6)	13(12)	4(6)	1(2)	3(2)	40(43)

※入居者 38 人のうち 11 人 (28.9%) が大樹運営の障がい福祉サービスを利用

3 重点計画実施状況

(1) 既存ホーム契約満了への対応

平成 29 年 1 月末に契約期間が満了する住居 (けやきハイツ) については、利用者へのヒアリングを実施し、障がい特性やニーズに合わせた改築を行うこととし契約を延長する。

(2) サービスの質の向上

世話人会議の開催頻度、住居ごとの会議や女性会議の開催、参加職員の拡大により、住居毎の利用者の細かな変化について情報を共有しやすい場を作った。特に個別支援計画書のあり方を見直し、新年度に活かせる具体的改善案を検討した。また、嘱託常勤職員の配置により、職員体制を整えた。全職員を対象に接遇研修を実施し職員育成に取り組んだ。

(3) 重度化・高齢化への対応

専門性を高めるため、サービス管理責任者、世話人を中心として「強度行動障害支援者養成研修」(延べ 5 人参加) をはじめ内外の研修に参加した。また、高齢化する利用者への対応に向け環境整備を行い住居内での居室移動の準備をした。

(4) 成年後見制度の利用促進

入居者本人の将来への安心、権利擁護の観点から、職員勉強会、研修会参加等を経て、本人やご家族へ制度説明を継続してきた結果、2 人が利用に向けた準備をすすめている。次年度に向けてケースワーカー、後見人候補と連携を取り制度利用を促進した。(現在の制度利用者は 4 人)

(5) 緊急時、災害時の対応力強化

生活支援員を中心として「一人宿直者防火研修」に参加し意識を高めることができた。また、入居者と世話人が地域の避難訓練へ参加し、また、住居ごとの会議に消防署員を講師として招き、緊急時対応、火災予防、水消火器の訓練を実施し対応力を強化した。

●あそびのひろばこかげ

【①児童発達支援事業】

1 概況

障がいのある、もしくはあると思われる未就学児を対象に、個別及び集団プログラム活動（公園遊び、制作活動など）を行った。

2 実績

定員 10 人。平均利用人数は 5.13 人／日

年間延べ利用者数は 1,221 人

* 詳細は資料 2 参照

3 重点計画実施状況

(1) 児童 1 人ひとりの発達課題への統一的な対応の推進

- ・家庭訪問 1 回、児童が併用されている幼稚園への見学 1 回、幼稚園の先生のこかげ見学受け入れ 1 回を行った。
- ・必要に応じて、療育センター、区のケースワーカー、保健師、他事業所との連携を行った。

(2) 児童指導員等支援者の育成

- ・東部地域療育センターでの実習（7 人参加・非常勤含む）を行った。
- ・毎月のミーティングの中で内部研修（自閉症の特性について、適切な声かけの仕方について、など）を 4 回実施し、支援者の育成を図った。

【②放課後等デイサービス事業】

1 概況

障がいのある、もしくはあると思われる児童（小 1 から高 3）を対象に個別及び集団プログラム活動（買い物学習、調理など）を行った。

2 実績

定員 10 人（こかげ・わたげ とも）

平均利用人数 こかげ 5.13 人／日 わたげ 7.53 人／日

年間延べ利用者数 こかげ 1,471 人 わたげ 2,169 人

* 詳細は資料 2 参照

3 重点計画実施状況

(1) 中高生の過ごしの改善（わたげ）

- ・ 2 グループに分けて活動を行ったり、パーテーションやテーブルで個別課題に取り組む場所を明確にしたり、個別でのスケジュールボードを活用することで、混乱なく活動に取り組めるようにした。

- ・ 5月より土曜日及び長期休みの受け入れ開始時間を「12：00」から「11：30」に拡大した。

(2) 小学生の過ごしの充実（こかけ）

- ・ 5月より土曜日の受け入れ開始時間を「14：00」から「11：30」に拡大した。
- ・ 会議（児童で話し合っって調理内容を決める）プログラムを取り入れ、児童が作りたい調理活動を行うことで、積極的に活動に参加できるよう工夫した。

(3) 送迎体制の強化

- ・ 鶴見養護学校及び個別支援学級へのお迎え便を18便／週に増便した。行き先の学校数増加（鶴見養護学校に加え、個別支援学級9校）に伴い、送迎の急な予定変更（児童の欠席等）時にも迅速にゆうづるへ連絡を入れ、また送迎表の変更箇所を赤字で記すことで、ミスなく学校送迎に取り組むことができた。

●鶴見市場地域ケアプラザ「ゆうづる」

【①地域活動交流事業】

1 概況

支え合う地域づくりを目指し、高齢者支援・子育て支援・障がい者支援を中心に多角的に事業を実施した。

また、地域包括支援センターと連携して出張事業の実施や、地域行事などへの参加からアウトリーチを行い、地域ニーズに対応した事業実施、地域力の発掘を行った。コミュニティハウスと協力して、地域ケアプラザの周知や地域保健福祉情報の発信を行った。

2 実績 ※参照資料・・・「資料3」

3 重点計画実施状況

(1) 自主事業の実施（特に、障がい児・者理解の促進、事業の充実）

①高齢者支援

地域包括支援センターと連携し、ゆうづるから遠い地域にお住まいの方へのアプローチとして出張事業を実施した。（老人会での介護保険説明会、出張カフェなど）継続的な顔の見える関係づくりから見守り体制強化につながった。

コミュニティハウスや通所介護事業所と連携して「歌声喫茶」「おでかけコンサート」を開催し、居場所づくりを行った。また、「手芸カフェ」「男の料理教室」などのボランティアの力を地域に生かし、世代間交流が生まれる事業を展開する事ができた。

②子育て支援

市場エリアの子育て世帯数の急増に対応するため、自治会・町内会、行政、社会福祉協議会、保育園・幼稚園、地域活動団体と協働して、子育て支援事業を実施した。ネットワークを活用して区域で取り組んだ「保育ボランティア育成&スキルアップ講座」では、活動者同士の交流を通して、活動意欲の向上につながった。

同時に世代間交流や新しいイベント企画（鶴見総合高校赤ちゃんふれあい授業など）につながった。

保育ボランティアやコメントなど、子育て支援事業をボランティアと協働で取り組むことで世代間交流や気軽に悩み相談を共有する機会となった。高齢者が子どもを、子育て中の保護者が高齢者を見守る「地域の見守り合い」につながった。

コメントでは、保護者の希望を受けて近隣の保育園・幼稚園の見学に有志とともにいった。

③障がい者支援

昨年に引き続き、自主事業などで障がい者施設の手づくり製品販売の場を提供

した。「のど自慢大会（年3回）」では、地域老人会と障がい者施設利用者が音楽を通して交流し、地域社会参加の場となっている。

障がい児余暇支援事業「サマーフレンド」では、デイサービスボランティア、地域伝統舞踊講師、男の料理教室参加者と協働でプログラムを実施。当事者とご家族が地域とのつながりを持てるよう支援を行った。今年は子育て支援団体のコメントの参加者にも協力をして頂き、障害理解や交流の場を持つことができた。

「ボッチャ交流会」は、ゆうづるロビー来館者（小学生・高齢者）を巻き込んだ自然な交流が生まれた。

（2）ボランティアの発掘、育成、支援

①ボランティア発掘・育成

鶴見区ボランティアセンターや、自治会・町内会会議等で定期的にボランティア活動PRを行い、中学生学習支援事業のボランティア発掘などにつながった。

ボランティア活動をされている方の発表の場発掘に努めた。「鉄道フェスタ写真展示」「みなつるフェスタ～子どもたちの笑顔の写真展」等。

また、地域の学校（小・中・高）と連携し、「オール市場ゆうづる夏祭り」等福祉教育の推進、身近なボランティア参加の機会を提供して活動を支援した。

②ボランティア支援

活動後の会議や活動報告書を通して、日々の活動についての相談支援を行った。また、部署連携をスムーズに行うため定期的に情報交換を行い、ボランティア活動の発展につなげた。

ボランティア活動における課題抽出と解決、ボランティア同士の情報共有を行った。また、他地区でのボランティア実践の場へ研修を行うなど、ボランティアのモチベーションが高まるよう支援を行った。

（3）異文化交流として外国人が関わる自主事業の展開

横浜市国際学生会館との協働で、「国際クッキング交流」を実施。地域ボランティア、韓国の留学生、地域住民でお互いの国の料理を教え合い、文化を学び合う時間となり、異文化交流の良い機会となった。

（4）地域にこまめに出向き情報の収集と提供を図る

地域で行われる活動に出席し、ニーズの把握に努めるとともに、顔の見える関係作りを行った。合わせて個別ケースの把握も行い、地域包括支援センターと協力し自主事業などで早期に見守りできる対応を行った。

自治会・町内会単位での関係づくりから、新しいネットワークが生まれ、新たな社会資源づくり（出張カフェの定着、サロンボランティア育成、サンタボランティアと子育てサークルのつながり、老人会との協働事業など）や地域活動の活発化につながった。また、ケアプラザから遠い地域に住む方のニーズ把握として、既存の集会等に出向き、アウトリーチを行った。情報収集・提供とともに、ケアプラザの周知や必要に合わせて事業案内を行った。

(5) 地域包括支援センターとの5職種連携による課題・ニーズの把握

5職種地域会議を毎月開催し、地域交流と地域包括支援センターの課題共有を行った。地域包括支援センターと共催で「やさしい法律教室」を2回開催した。女性問題に焦点をあてたため、子育て中の女性の参加もあった。現代の女性の抱える問題を地域ぐるみでの問題認識として持っていただけた。地域包括支援センターの周知を行い、地域の相談体制を強化した。28年度も引き続き「男の料理教室」を開催し、男性高齢者の孤立防止、ボランティア育成（障害児余暇支援事業、オール市場夏祭り、サンタ派遣事業）に取り組んだ。

また小学校・中学校・高校で福祉教育を実施した。

4 その他

(1) 災害への備え

特別避難場所開設準備訓練を実施。部屋の仕切り・情報の収集・備蓄チェック等のシミュレーションを行い、サブコーディネーターを含む職員全員で振り返り・備蓄の不備や改善点の確認をした。また、防災に関する自主点検項目表にて定期的な施設点検を行った。第六分団の協力により、救命救急(AEDの使い方など)の体験学習を行った。

(2) 鶴見・あいねっと（鶴見区地域福祉保健計画）の推進

毎月の担当者会議を通し、鶴見区役所・鶴見区社会福祉協議会と連携し、定期的に地域組織・ボランティア団体との会合をもち、福祉保健に関する課題を、地域で暮らす生活者の視点から捉え、地域の繋がりの中での解決を目指すよう取り組んだ。地域での新たな担い手をテーマにして地域住民を交えて意見を出し合った。新たな担い手が出てこないのが現状、現在担い手になっている人は役員を重複していることが多い。担い手の発掘が今後の課題である。

【②地域包括支援センター事業】

1 概況

独居や高齢世帯、認知症に加え、家族関係が複雑になり多問題なケースが増えている。同様に虐待の内容が今までより複雑になり、支援が難しくなっている。その為に包括が区役所や医療機関だけでなく、幅広い機関との連携が必要になってきた。今まで以上に総合相談窓口として多様なケースに取り組まなくてはならない。

五職種会議では、新職員が増えたために情報共有や連携の必要性など基本的なことを確認してきた。地域ケア会議では、1年間独居のケースの見守りを取り上げてきた。比較的軽度にもかかわらず、地域から孤立しがちな住民を地域課題として話し合った。

地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みとして、町内会館やマンション集会室を利用しての地域住民向け講座で認知症や介護制度の説明を行ってきた。地域住民による支援体制は、生活支援コーディネーターが各地域に呼びかけている段階である。介護保険サービスを補完できるような支援は、今後の課題である。

川のまちエリア会議は、各機関と地域を結び付ける取り組みとして継続している。今年度は『地域の見守り』をテーマに勉強会を行なった。関係機関や民間業者の参加が増え、民生委員も多くの方が参加していた。

介護予防事業では、2ヶ所の元気づくりステーションを中心に、『ノルディックウォーキング』や『男の料理教室』『認知症予防3A講座』などを継続し、『介護予防連絡会』ではボランティア育成にも取り組んだ。

『ほがらか教室』のような地域の介護予防事業にも協力して、認知症講座や健康講座を開催してきた。

2 実績

<相談件数>

(): 昨年度 単位: 件

105	(85)	81	(92)	81	(92)	90	(82)	82	(104)	84	(99)	523	(554)	
10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
97	(109)	75	(108)	86	(66)	99	(132)	81	(113)	118	(105)	1079	(1187)	

<訪問件数>

(): 昨年度 単位: 件

4月		5月		6月		7月		8月		9月		小計		
17	(21)	34	(19)	34	(26)	17	(20)	46	(26)	20	(28)	168	(140)	
10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
29	(22)	48	(29)	41	(35)	28	(23)	47	(36)	42	(21)	403	(306)	

介護予防支援と介護予防ケアマネジメント () 内は委託件数 単位: 件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	
平成27年度	151(138)	146(133)	143(131)	138(127)	131(120)	132(121)	841(770)	
平成28年度	137(126)	119(108)	115(105)	117(107)	111(100)	102(91)	701(637)	
総合事業	17(15)	23(21)	33(31)	38(35)	46(43)	55(52)	212(197)	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
平成27年度	136(124)	140(129)	135(125)	135(124)	131(120)	137(126)	1655(1518)	
平成28年度	85(76)	76(67)	65(58)	57(53)	60(56)	59(55)	1103(1002)	
総合事業	63(60)	70(66)	77(72)	87(81)	89(82)	91(84)	689(642)	

*総合事業は、介護予防・日常生活支援総合事業のこと

毎月1回の状態確認、3ヵ月に1度の訪問が義務づけられており、また、他機関とのサービス調整や本人等からの相談も随時受けつけ、個別のニーズに対応している。

3 重点計画実施状況

(1) 介護サービス事業所への支援

介護予防・日常生活支援総合事業が少しずつ拡大して、対象者が増えている。まだ本格実施に向けた移行期間であり、ケアマネジャーやサービス事業所にも戸惑いがある。ケアマネジャーには、勉強会や個別相談などで自立支援に繋がるケアマネジメントを周知・指導している。

居介支連絡会は、主任ケアマネ合同や“鶴見つばさねっと”との共催企画が増えている。民間の主任ケアマネ向け勉強会もスタートした。単館での開催は必要に応じて不定期開催の方向である。

ケアマネジャー支援は、電話や面談での個別相談が中心で、ケアプラン作成に関することが多い。新人・新任ケアマネも多く、相談しやすい環境づくりを意識してきた。困難ケースでは、カンファレンスや同行訪問などでの連携に取り組んだ。

(2) 災害時要援護者支援体制への取り組み

民生委員や地域住民だけでなく、病院の医療相談員からの連絡で訪問する機会が増えた。災害ボランティアネットワークに参加し、災害時の動きについて情報共有した。地域で開催する防災訓練に参加し、特別避難者搬送の訓練に協力。

地域ケア会議でも、災害時支援に繋がる話題があり、各機関の取り組みを共有する機会になっていた。

特別避難所訓練では、鶴見区役所や地域の協力も得て実施して、課題が発見されている。災害時要援護者の受け入れにおけるマニュアルの修正が必要である。

(3) 介護予防の普及・啓発

横浜市元気づくりステーションは、大和町会館の“ゆうづる倶楽部”と市場小コミハの“たのしいかい”が定着している。参加者が自主的に準備を行ない、区や包括が支援する形になっている。

横浜市介護予防普及強化事業・介護予防活動推進では、認知症予防スリーエープログラムやノルディックウォーキングの講座と併せて、介護予防ボランティアの育成を行った。各町内会や老人クラブなどから認知症予防や介護予防講座の依頼が増えている。脳トレや体操など、楽しみながら続けられるように工夫している。

生活支援コーディネーターは、地域との関係作りや地域のアセスメントを行なってきた。地域との話し合いの中から介護予防や居場所作りへの取り組みが一部地域で動き始めている。

※参照資料・・・「資料4」

【③（予防）通所介護事業所 （予防）認知症対応型通所介護事業所】

1 概況

要支援・要介護と認定された高齢者を対象に、身体機能の維持や向上、身体清潔保持、また生活に楽しみや張り合いを持てるように各種サービスの提供を行った。

2 実績

(1) （予防）通所介護事業所

＜平成 28 年度＞

単位：人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者数	86	88	89	85	85	85	85	82	82	83	81	83	1014
延べ利用者数	732	718	706	722	687	677	709	715	599	575	560	642	8042
日平均利用者数	28.1	27.6	27.1	27.7	25.4	26.5	26	27.5	24.9	23.9	23.3	23.7	26

＜平成 27 年度＞

単位：人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者数	79	81	82	84	81	80	81	80	81	79	82	84	974
延べ利用者数	677	694	693	682	710	690	716	639	640	589	660	705	8095
日平均利用者数	26	26.6	26.6	25.2	27.3	26.5	26.5	25.5	26.6	24.5	26.4	26.1	26.1

※28年度は1日平均利用者人数が26.0人で、前年度比0.1人減となり、ほぼ27年度と同じであった。前半は多かったものの年末より体調を崩し入院者が増え、長期欠席が多くなった影響で落ち込み、その後回復ができなかった。季節によりばらつきが出た形となった。

(2) 認知症対応型通所介護事業

＜平成 28 年度＞

単位：人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者数	10	10	10	10	10	11	11	10	9	9	8	8	116
延べ利用者数	88	80	81	80	82	90	87	85	77	77	72	60	959
日平均利用者数	3.3	3.1	3.1	3.1	3.0	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.0	2.2	3.1

＜平成 27 年度＞

単位：人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者数	11	11	11	11	12	10	10	11	11	11	10	10	129
延べ利用者数	109	112	111	106	96	93	106	93	91	88	82	98	1185
日平均利用者数	4.1	4.3	4.2	3.9	3.6	3.5	3.9	3.7	3.7	3.6	3.2	3.6	3.8

※前年度に比べ0.7人の減となった。新規利用が1名だったのに対し利用終了者が3名となり延利用者数が伸びなかった。28年度より運営推進会議が必須となり、2月に第1回目の会議を実施した。

(3) 平成28年度内部研修実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
研修内容	個人情報 の取り扱 い	認知症利 用者の対 応		接遇につ いて		利用者合 同避難訓 練
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研修内容			感染症予 防研修	認知症利 用者の対 応	利用者合 同避難訓 練	

(4) ボランティア受入れ状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
イベントボ ランティア ア団体	マジック ショー 合唱	ギター演 奏会	大正琴演 奏会	ミュー ジックベ ル演奏会	ギター演 奏会 ハーモニ カ	ハーモニ カ演奏会 マジック ショー	大正琴演 奏会	ギター演 奏会 ハーモニ カ歌謡 ショー ミュー ジックベ ル演奏会	大正琴演 奏会	歌謡 ショー	ハーモニ カギター 演奏会	大正琴演 奏会 合唱
イベントボ ラ参加人数	7	2	8	8	8	4	8	16	8	2	7	13
いきいきボ ランティア 等	20	18	20	16	26	20	19	22	22	24	24	27
年度合計	27	20	28	24	34	24	27	38	30	26	31	40
平成27年度	30	36	43	37	29	45	32	41	30	50	27	37

3 重点計画実施状況

(1) ケアプラザの特徴を生かした高齢デイサービスの構築

①運動する機会の提供

下肢運動器具 5 台を使用しての下肢運動を午前入浴前後の時間、午後機能訓練体操後に実施、デイルームの広さを生かして午後の時間で歩行運動、手すりを使用しての立ち座り運動等を実施した。

②鶴見区歯科医師会の協力による歯科相談の実施（毎年実施）

地域の歯科医師による歯科相談を行った。登録利用者の約 3 分の 1 の方が相談を受け、相談結果から歯科通院等を行う利用者も出て健康増進に役立った。

③中高生との交流

市場中学校生、鶴見中学校生、潮田中学校生の職場体験学習や鶴見総合高校生の福祉体験実習の場として受け入れを行った。

④事故防止への取り組み～介護ロボットの導入

神奈川県地域医療介護総合確保基金事業（介護ロボット導入支援事業）を利用しTANOシステムを導入した。静養室など職員の死角にあたる箇所へセンサーを設置し、起き上がりなど未然に察知でき、事故防止と共に職員の心理的負担の軽減にもつながった。

(2) 認知症対応型通所介護における運営推進会議の実施

2月に実施、地域の代表者・利用者および家族・民生委員・ケアマネージャー地域包括センターなどの多くの関係者に参加をいただき、事業所の活動報告等を通し事業内容をしてもらうことができ、また参加者から多くの意見や要望を聞くことができた。

(3) 利用者の確保と稼働率の向上について

目標値の1日平均：通常型27名・認知症対応型4名にはいずれも届かない結果となった。登録者数は、前年度ベースで推移したものの、年末以降、体調不良者が続出し、利用者の減少(=稼働率の低下)につながった。

【④居宅介護支援事業】

1 概況

平成26年5月から特定事業所Ⅱとなった。主任ケアマネージャーの設置、24時間連絡体制、研修計画に基づく研修会の実施、内部会議を通して相談体制を強化した。細やかな対応が出来る範囲で新規利用者を積極的に受け入れるなど、できる限りご希望に添えるようにした。また、鶴見区の委託で認定調査も行った。

2 実績

利用者推移表												(単位；人)	
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
新規	4	0	1	1	3	0	1	1	0	1	2	0	
継続	113	109	106	107	104	106	103	101	100	99	96	96	
辞退	8	3		4	1	3	3	2	1	4	1	2	
理由	特養入所、引越、長期入院3、老健3	特養2、逝去		特養入所、逝去、小規模多機能入所2	特養入所	逝去2、特養入所	逝去2、軽快終了	特養入所2	逝去	逝去3、有料入所	逝去	逝去2	
合計	109	106	107	104	106	103	101	100	99	96	97	94	
(うち給付のない利用者数と理由)	入院2、老健2、サービスなし2	入院1、老健5、サービスなし1	入院1、老健3	サービスなし1、老健3	サービスなし1、老健3	入院2、サービスなし1、老健3	入院2、老健3	入院2、老健2	入院1、老健2	入院2、老健2、サービス利用なし1	入院2、老健3、サービス利用なし1	入院2、老健1	
介護給付	90	87	90	88	89	84	83	83	84	78	79	80	
予防給付	12	12	12	12	13	13	13	12	11	11	12	11	
給付合計	102	99	102	100	102	97	96	95	95	89	91	91	
前年度介護給付	88	91	89	90	90	91	89	88	88	87	87	90	
前年度予防給付	9	10	12	13	10	8	8	9	11	11	12	12	
前年度給付合計	97	101	101	103	100	99	97	96	99	98	99	102	
給付人数												(単位；人)	
	介護給付		予防給付		認定調査								
平成28年度	1015		144		117								
平成27年度	1156		125		119								
介護度別給付人数												(単位；人)	
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計					
平成28年度	2	9	11	36	17	10	6	91					
平成27年度	5	7	7	45	17	14	7	102					

3 重点計画実施状況

- (1) 医療依存度が高い利用者の在宅生活に対応するため、在宅医療及び医療ケアに関する研修に積極的に参加した。
- (2) 災害対応の研修に参加し地域の状況と課題を考えながら、防災訓練に参加した。
- (3) スムーズに介護予防・日常生活支援総合事業に該当利用者は移行できたが、特定事業所集中減算の変更にはスムーズに対応できずに、収益に損害を与えてしまった。

●鶴見市場コミュニティハウス「ゆうづる」

1 概況

地域で暮らす人々の活動や交流の場として、生涯学習の場として、様々なジャンルにわたる教室やイベントを開催した。地域ケアプラザとの複合館という特徴を活かし、福祉的な要素を織り込みつつ、地域や関係機関との連携を密にし、各種事業を実施した。

また、依然として地域内の工場跡地等にマンションの新築が続いており、若い世代の転入増加が顕著という背景のもと、子育て関連事業の充実・拡大にも注力した。

2 実績 ※参照資料・・・「資料3」

3 重点計画実施状況

(1) 退職者・高齢者のために

健康カラオケ教室、健康麻雀サロン、歌声喫茶、カルチャー教室、パソコン教室、パソコン相談室等のイベントを開催し、家に閉じこもりがちな高齢者等の外出を促すとともに、軽易な体操を組み入れて健康増進も図った。また、地域で支援の必要な方の情報を得るような取り組みも行った。

(2) 増加する子育て世代のために

新たに転入した子育て世代に親子で楽しめる多くのイベントを企画・実施した(親子クッキング、絵本読み聞かせ、ウッドデッキで水遊び、サンタ・鬼派遣事業等)。

子育て世代の交流や子育ての悩みを気軽に話し合える事業を企画・実施した。子育て支援会議カフェコメット、地域育児支援イベント、ゆうづるんバ、ソフトエアロビ等)。

(3) 小・中・高校生の居場所づくりのために

平日放課後や土・日曜日の居場所として、ゆうづる文庫の充実・整備、ゲームやトランプなど貸出用品の充実、夏休みと冬休み期間中の自習室開放等を実施。

新規事業として夏休みキッズ寄席を開催した(地域活動交流事業と共催)。

青少年の来館者数は、21,323人(27年度21,218人)で対前年比0.4%増となった。また就学前の幼児については、11,307人(同10,112人)で対前年比12%増。

なお、中学生のための学習支援事業(ゆうづる学習室)については、市場中学校の生徒募集等の協力も得て平成28年6月に学習室を開設した。地域と学生ボランティア主体による地域の中学生に寄り添った学習室、居場所づくりを目指す。

(4) 障がい児・者との交流のために

地域住民と障がい児・者との交流を図るために大型のイベントを実施した(オール市場ゆうづる夏祭り、のど自慢大会、鉄道フェスタ、Xmasコンサート、

クラシックコンサート等)。

(5) その他の事業

世代間交流、異文化交流さらに国際交流のための3回目のイベントとして、タイ王国からの留学生が講師となり同国料理「ガパオライス」を楽しくつくり、交流会では親交を深めた。その他、身近な法律問題を取り上げたやさしい法律教室、横浜市職員落語愛好会による出前寄席、地域の高齢者を講師とした写真教室等を開催した。

(6) 地域の情報発信

地域の情報発信の拠点として、提供方法の改善と提供先を拡大した。

情報紙「イッピー」の発行と近隣施設への事業チラシの配布、ホームページの更新のほか、地域のミニコミ誌への連絡を密にした。

4 その他

(1) 来館者数と貸館利用率

来館者数は年間 84,213 人 (27 年度 85,869 人) と対前年比 2%減となった。また、貸館利用率は全体で 49% (同 47%) であった。

(2) ゆうづる文庫 (図書貸出し)

図書蔵書数は 6,173 冊(27 年度 6,010 冊)となり、図書貸出数は対前年比 11%減の 4,286 冊 (同 4,794 冊) であった。

●法人概要

(1) 法人基本理念

- 地域で暮らす何らかの支援を必要とする障がい者・高齢者・児童等のひとりひとりの権利を尊重し、自己決定を支援する。
- 住みなれた鶴見区という「地域（まち）」の中で安心して暮らせるよう支援する。
- 障がい者・高齢者・児童やその家族の思いや願いに共感する姿勢を持ち、その実現に努力する。
- ノーマライゼーション原理に基づく共生社会の実現に努める。

(2) 法人のあゆみ

年 月 日	内 容 等								
平成 11 年 11 月 2 日	横浜市から社会福祉法人の設立認可。(横浜市福監指令第 43 号)								
平成 11 年 11 月 25 日	法人設立登記日								
平成 12 年 11 月 1 日	身体障害者デイサービス (20 人/日定員)、知的障害者デイサービス (20 人/日定員)、一時ケア・ショートステイ事業、おもちゃ文庫事業、余暇活動支援事業等を実施する「つるみ地域活動ホーム幹」の運営を開始。 ※デイサービス事業については、平成 15 年 4 月 1 日に支援費制度へ移行。								
平成 13 年 10 月 1 日	「知的障害者自立生活アシスタント派遣事業」の受託。								
平成 13 年 10 月 15 日	「障害者ケアマネジメント推進事業」を受託。(平成 14 年 2 月 14 日終了)								
平成 14 年 7 月 1 日	「横浜市障害者等ホームヘルパー派遣 (滞在型) 事業」を受託 (平成 15 年 4 月 1 日支援費制度へ移行)								
平成 15 年 4 月 1 日	【支援費制度】居宅介護事業 (身体・知的・児童) 開始。 事業所名称：ヘルパーステーション木の葉 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>事業名称</th> <th>事業所番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身体障害者居宅介護事業</td> <td>14100100140112</td> </tr> <tr> <td>知的障害者居宅介護事業</td> <td>14100200140111</td> </tr> <tr> <td>児童居宅介護事業</td> <td>14100300140110</td> </tr> </tbody> </table>	事業名称	事業所番号	身体障害者居宅介護事業	14100100140112	知的障害者居宅介護事業	14100200140111	児童居宅介護事業	14100300140110
事業名称	事業所番号								
身体障害者居宅介護事業	14100100140112								
知的障害者居宅介護事業	14100200140111								
児童居宅介護事業	14100300140110								
平成 15 年 4 月 1 日	【支援費制度】デイサービス事業 (身体・知的) 開始。 事業所名称：つるみ地域活動ホーム幹 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>事業名称</th> <th>事業所番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身体障害者デイサービス事業</td> <td>14100100177122</td> </tr> <tr> <td>知的障害者デイサービス事業</td> <td>14100200177121</td> </tr> </tbody> </table>	事業名称	事業所番号	身体障害者デイサービス事業	14100100177122	知的障害者デイサービス事業	14100200177121		
事業名称	事業所番号								
身体障害者デイサービス事業	14100100177122								
知的障害者デイサービス事業	14100200177121								
平成 15 年 4 月 1 日	重度重複障害者デイサービス事業を受託 (5 人/日定員)								

平成 16 年 2 月 1 日	<p>【支援費制度】 知的障害者地域生活援助事業（グループホーム）開始。 事業所名称：「樫の木ハイツ」（定員 5 人）</p> <table border="1" data-bbox="655 259 1390 356"> <tr> <th>事業名称</th> <th>事業所番号</th> </tr> <tr> <td>知的障害者地域生活援助事業</td> <td>14100200528141</td> </tr> </table>	事業名称	事業所番号	知的障害者地域生活援助事業	14100200528141				
事業名称	事業所番号								
知的障害者地域生活援助事業	14100200528141								
平成 16 年 4 月 1 日	<p>鶴見区学齢障害児等余暇活動支援事業の実施。 ●平成 16 年度余暇支援試行事業として“ワン・ピース！”を実施。 ※報告書「気軽に出かけたい、遊びたい」を作成。 ●平成 17 年度余暇活動支援試行事業として“ふしぎなポケット”を実施。 ※報告書「“ぽけっと” いっぱいのふしぎ」を作成。</p>								
平成 16 年 10 月 1 日	<p>【支援費制度】 知的障害者地域生活援助事業（グループホーム）開始。 事業所名称：「楠の木ハイツ」（定員 4 人）</p> <table border="1" data-bbox="655 857 1390 954"> <tr> <th>事業名称</th> <th>事業所番号</th> </tr> <tr> <td>知的障害者地域生活援助事業</td> <td>14100200618140</td> </tr> </table>	事業名称	事業所番号	知的障害者地域生活援助事業	14100200618140				
事業名称	事業所番号								
知的障害者地域生活援助事業	14100200618140								
平成 17 年 12 月 1 日	<p>横浜市鶴見市場地域ケアプラザ指定管理者の指定を受ける。 指定根拠：横浜市地域ケアプラザ条例第 5 条 指定期間：平成 22 年 3 月 31 日まで 横浜市鶴見市場コミュニティハウス指定管理者の指定を受ける。 指定根拠：横浜市地区センター条例第 5 条第 4 項</p>								
平成 18 年 1 月 1 日	<p>横浜市鶴見市場地域ケアプラザ・コミュニティハウス運営開始。 ●横浜市鶴見市場地域ケアプラザ 通所介護事業所（定員 30 人）</p> <table border="1" data-bbox="655 1520 1235 1617"> <tr> <th>サービス種類</th> <th>事業所番号</th> </tr> <tr> <td>通所介護</td> <td>1470101377</td> </tr> </table> <p>●横浜市鶴見市場地域ケアプラザ 居宅介護支援事業所</p> <table border="1" data-bbox="655 1668 1235 1765"> <tr> <th>サービス種類</th> <th>事業所番号</th> </tr> <tr> <td>居宅介護支援事業</td> <td>1470101369</td> </tr> </table>	サービス種類	事業所番号	通所介護	1470101377	サービス種類	事業所番号	居宅介護支援事業	1470101369
サービス種類	事業所番号								
通所介護	1470101377								
サービス種類	事業所番号								
居宅介護支援事業	1470101369								
平成 18 年 4 月 1 日	<p>【支援費制度】 児童デイサービス事業開始 事業名称：あそびのひろば こかげ（10 人/日定員）</p>								

平成 18 年 10 月 1 日	<p>【障害者自立支援法】</p> <p>1 指定障害者福祉事業所</p> <p>●活動ホーム幹 経過的デイサービス事業（身体 20 人知的 23 人）</p> <table border="1" data-bbox="655 309 1235 405"> <tr> <td>サービス種類</td> <td>事業所番号</td> </tr> <tr> <td>経過的デイサービス</td> <td>1460100280</td> </tr> </table> <p>●ヘルパーステーション木の葉 居宅介護・重度訪問介護事業所</p> <table border="1" data-bbox="655 501 1235 647"> <tr> <td>サービス種類</td> <td>事業所番号</td> </tr> <tr> <td>居宅介護 重度訪問介護</td> <td>14101000042</td> </tr> </table> <p>●樫の木ハイツ 共同生活援助・介護事業所</p> <table border="1" data-bbox="655 696 1235 842"> <tr> <td>サービス種類</td> <td>事業所番号</td> </tr> <tr> <td>共同生活援助 共同生活介護</td> <td>1420100172</td> </tr> </table> <p>●あそびのひろば こかげ 児童デイサービス事業所</p> <table border="1" data-bbox="655 891 1235 987"> <tr> <td>サービス種類</td> <td>事業所番号</td> </tr> <tr> <td>児童デイサービス</td> <td>1410100281</td> </tr> </table> <p>●つるみ地域生活支援センター 相談支援事業所</p> <table border="1" data-bbox="655 1037 1235 1133"> <tr> <td>サービス種類</td> <td>事業所番号</td> </tr> <tr> <td>相談支援</td> <td>1430100329</td> </tr> </table> <p>2 地域生活支援事業</p> <p>●ヘルパーステーション木の葉 移動支援事業所</p> <table border="1" data-bbox="655 1229 1235 1326"> <tr> <td>サービス種類</td> <td>事業所番号</td> </tr> <tr> <td>移動支援</td> <td>1460100157</td> </tr> </table>	サービス種類	事業所番号	経過的デイサービス	1460100280	サービス種類	事業所番号	居宅介護 重度訪問介護	14101000042	サービス種類	事業所番号	共同生活援助 共同生活介護	1420100172	サービス種類	事業所番号	児童デイサービス	1410100281	サービス種類	事業所番号	相談支援	1430100329	サービス種類	事業所番号	移動支援	1460100157
サービス種類	事業所番号																								
経過的デイサービス	1460100280																								
サービス種類	事業所番号																								
居宅介護 重度訪問介護	14101000042																								
サービス種類	事業所番号																								
共同生活援助 共同生活介護	1420100172																								
サービス種類	事業所番号																								
児童デイサービス	1410100281																								
サービス種類	事業所番号																								
相談支援	1430100329																								
サービス種類	事業所番号																								
移動支援	1460100157																								
平成 19 年 2 月 1 日	<p>【障害者自立支援法】 共同生活介護事業</p> <p>共同生活住居：けやきハイツ（5 人定員）開所</p>																								
平成 20 年 3 月 1 日	<p>●横浜市障害児居場所づくり事業</p> <p>事業名称：あそびのひろば こかげ（10 人/日定員）</p>																								
平成 20 年 6 月 1 日	<p>【障害者自立支援法】 共同生活介護事業</p> <p>共同生活住居：さくらの木ハイツ（5 人定員）開所</p>																								
平成 22 年 4 月 1 日	<p>【障害者自立支援法】 就労継続支援 B 型事業</p> <p>豊岡就労支援事業所「^{ぼく}麦の家」（20 人/日定員）開所</p> <table border="1" data-bbox="628 1767 1208 1863"> <tr> <td>サービス種類</td> <td>事業所番号</td> </tr> <tr> <td>就労継続支援 B 型</td> <td>1410100588</td> </tr> </table>	サービス種類	事業所番号	就労継続支援 B 型	1410100588																				
サービス種類	事業所番号																								
就労継続支援 B 型	1410100588																								
平成 23 年 3 月 25 日	<p>【障害者自立支援法】 共同生活介護事業</p> <p>共同生活住居：ももの木ハイツ（5 人定員）開所</p>																								

平成 23 年 3 月 25 日	<p>共同生活住居：くりの木ハイツ（5 人定員）開所</p> <table border="1"> <tr> <td>サービス種類</td> <td>事業所番号</td> </tr> <tr> <td>共同生活介護</td> <td>1420100172</td> </tr> </table>	サービス種類	事業所番号	共同生活介護	1420100172
サービス種類	事業所番号				
共同生活介護	1420100172				
平成 23 年 6 月 1 日	<p>【介護保険法】 認知症対応型通所介護事業 ●横浜市鶴見市場地域ケアプラザ（予防）認知症対応型通所介護事業所（12 人/日定員）開所</p> <table border="1"> <tr> <td>サービス種類</td> <td>事業所番号</td> </tr> <tr> <td>（予防）認知症対応型通所介護事業</td> <td>1490100144</td> </tr> </table>	サービス種類	事業所番号	（予防）認知症対応型通所介護事業	1490100144
サービス種類	事業所番号				
（予防）認知症対応型通所介護事業	1490100144				
平成 25 年 1 月 1 日	<p>【障害者自立支援法】 共同生活介護／援助事業 共同生活住居：ゆずの家（6 人定員）開所</p> <table border="1"> <tr> <td>サービス種類</td> <td>事業所番号</td> </tr> <tr> <td>共同生活介護 共同生活援助</td> <td>1420100172</td> </tr> </table>	サービス種類	事業所番号	共同生活介護 共同生活援助	1420100172
サービス種類	事業所番号				
共同生活介護 共同生活援助	1420100172				
平成 25 年 2 月 1 日	<p>●横浜市障害者後見的支援推進事業 事業所名：障がい者後見的支援室りんくるつるみ開所</p>				
平成 26 年 2 月 1 日	<p>【児童福祉法】 指定障害児通所施設事業 事業所名称：あそびのひろばこかげ 従たる事業所：放課後等デイサービス わたげ 開所</p> <table border="1"> <tr> <td>サービス種類</td> <td>事業所番号</td> </tr> <tr> <td>放課後等デイサービス</td> <td>1450100036</td> </tr> </table>	サービス種類	事業所番号	放課後等デイサービス	1450100036
サービス種類	事業所番号				
放課後等デイサービス	1450100036				
平成 26 年 5 月 1 日	<p>【障害者総合支援法】 生活介護事業 ●江ヶ崎生活介護事業所開所</p> <table border="1"> <tr> <td>サービス種類</td> <td>事業所番号</td> </tr> <tr> <td>生活介護事業</td> <td>1410100935</td> </tr> </table>	サービス種類	事業所番号	生活介護事業	1410100935
サービス種類	事業所番号				
生活介護事業	1410100935				
平成 27 年 7 月 1 日	<p>【障害者総合支援法】 共同生活介護／援助事業 共同生活住居：かりんの家（5 人定員）開所</p> <table border="1"> <tr> <td>サービス種類</td> <td>事業所番号</td> </tr> <tr> <td>共同生活介護 共同生活援助</td> <td>1420100172</td> </tr> </table>	サービス種類	事業所番号	共同生活介護 共同生活援助	1420100172
サービス種類	事業所番号				
共同生活介護 共同生活援助	1420100172				
平成 27 年 9 月 1 日	<p>【障害者総合支援法】 行動援護事業所 事業所名称：ヘルパーステーション木の葉</p> <table border="1"> <tr> <td>サービス種類</td> <td>事業所番号</td> </tr> <tr> <td>行動援護</td> <td>14101000042</td> </tr> </table>	サービス種類	事業所番号	行動援護	14101000042
サービス種類	事業所番号				
行動援護	14101000042				

平成 28 年 4 月 1 日	<p>●横浜市障害者相談支援事業 事業所名：鶴見区基幹相談支援センター</p>				
平成 28 年 11 月 1 日	<p>【障害者総合支援法】 就労継続支援 B 型事業 豊岡就労支援事業所「^{ほく}麦の家」 従たる事業所：「^{ほく}麦の家 2 号店」（15 人/日定員）開所</p> <table border="1" data-bbox="628 398 1209 499"> <tr> <td data-bbox="628 398 916 450">サービス種類</td> <td data-bbox="916 398 1209 450">事業所番号</td> </tr> <tr> <td data-bbox="628 450 916 499">就労継続支援 B 型</td> <td data-bbox="916 450 1209 499">1410100588</td> </tr> </table>	サービス種類	事業所番号	就労継続支援 B 型	1410100588
サービス種類	事業所番号				
就労継続支援 B 型	1410100588				

(3) 法人の施設概要

■ 敷地概要

① つるみ地域活動ホーム幹

所在地	横浜市鶴見区北寺尾四丁目 21 番 20 号
敷地面積	1 4 2 5 . 76 m ² (横浜市から無償貸借)
用途地域	第一種低層住宅専用地域
	第一種高度地区
	第三種風致地区 宅地造成工事規制区域

■ 施設概要

① つるみ地域活動ホーム幹

階 数	地下 1 階 地上 2 階建
構 造	鉄筋コンクリート造
建築面積	5 7 0 . 41 m ²
延床面積	1 2 0 1 . 11 m ²

② ヘルパーステーション木の葉・・・賃借

所在地	横浜市鶴見区豊岡町三丁目 4 番 リコービル 5 階
階 数	地上 5 階建の 1 階 101 号室
構 造	鉄筋コンクリート造
借用面積	7 5 . 08 m ²

③ つるみ地域生活支援センター

(「幹」相談支援室、障がい者後見的支援室りんくるつるみ)・・・賃借

所在地	横浜市鶴見区鶴見豊岡町三丁目 4 番 リコービル 1 階
階 数	地上 5 階建の 1 階
構 造	鉄筋コンクリート造
借用面積	7 5 . 08 m ²

④ グループホーム彩 檜の木ハイツ (グループホーム)・・・賃借

所在地	横浜市鶴見区鶴見中央二丁目
階 数	地上 3 階建の 2 階及び 3 階部分
構 造	鉄骨造陸屋根 3 階建
借用面積	2 7 0 . 5 m ²

⑤ 楠の木ハイツ（グループホーム）・・・賃借

所在地	横浜市鶴見区北寺尾二丁目
階数	地上2階建
構造	木造2階建
借用面積	126.87㎡

⑥ けやきハイツ（グループホーム）・・・賃借

所在地	横浜市鶴見区仲通三丁目
階数	地上3階建の1階及び2階部分
構造	鉄筋3階建
借用面積	125.96㎡

⑦ さくらの木ハイツ（グループホーム）・・・賃借

所在地	横浜市鶴見区岸谷一丁目
階数	地上3階建
構造	鉄筋3階建
借用面積	概ね129.73㎡

⑧ あそびのひろば こかげ・・・賃借

所在地	横浜市鶴見区鶴見中央三丁目 あしほ総合クリニック2階部分
階数	地上2階建
構造	鉄筋2階建
借用面積	概ね108㎡

⑨ 横浜市鶴見市場地域ケアプラザ・コミュニティハウスゆうづる・・・指定管理

所在地	横浜市鶴見区市場下町11-5
階数	地上2階建
構造	鉄筋コンクリート造
借用面積	1367.87㎡（延床面積）

⑩ 豊岡就労支援事業所「麦の家」・・・賃借

所在地	横浜市鶴見区豊岡町14-27
階数	地上2階建
構造	鉄筋コンクリート造
借用面積	概ね180㎡（延床面積）

⑪ 寺谷ホーム1号館ももの木ハイツ（グループホーム）・・・賃借

所在地	横浜市鶴見区寺谷
階数	地上2階建（1階部分）
構造	木造2階建
借用面積	162.72 m ² （延床面積）

⑫ 寺谷ホーム2号館くりの木ハイツ（グループホーム）・・・賃借

所在地	横浜市鶴見区寺谷
階数	地上2階建（2階部分）
構造	木造2階建
借用面積	158.16 m ² （延床面積）

⑬ ゆずの家（共同生活住居）・・・賃借

所在地	横浜市鶴見区東寺尾
階数	地上2階地下1階（駐車場）建
構造	木造2階建
借用面積	244.19 m ² （延床面積）

⑭ あそびのひろばこかげ わたげ・・・賃借

所在地	横浜市鶴見区豊岡町
階数	地上5階建（2階部分）
構造	鉄筋コンクリート造 陸屋根
借用面積	85.16 m ² （延床面積）

⑮ 江ヶ崎生活介護事業所・・・賃借

所在地	横浜市鶴見区江ヶ崎町
階数	地上2階建
構造	木造2階建
借用面積	310.5 m ² （延床面積）

⑯ かりんの家（グループホーム）・・・賃借

所在地	横浜市鶴見区北寺尾
階数	地上2階建
構造	木造2階建
借用面積	131.04 m ² （延床面積）

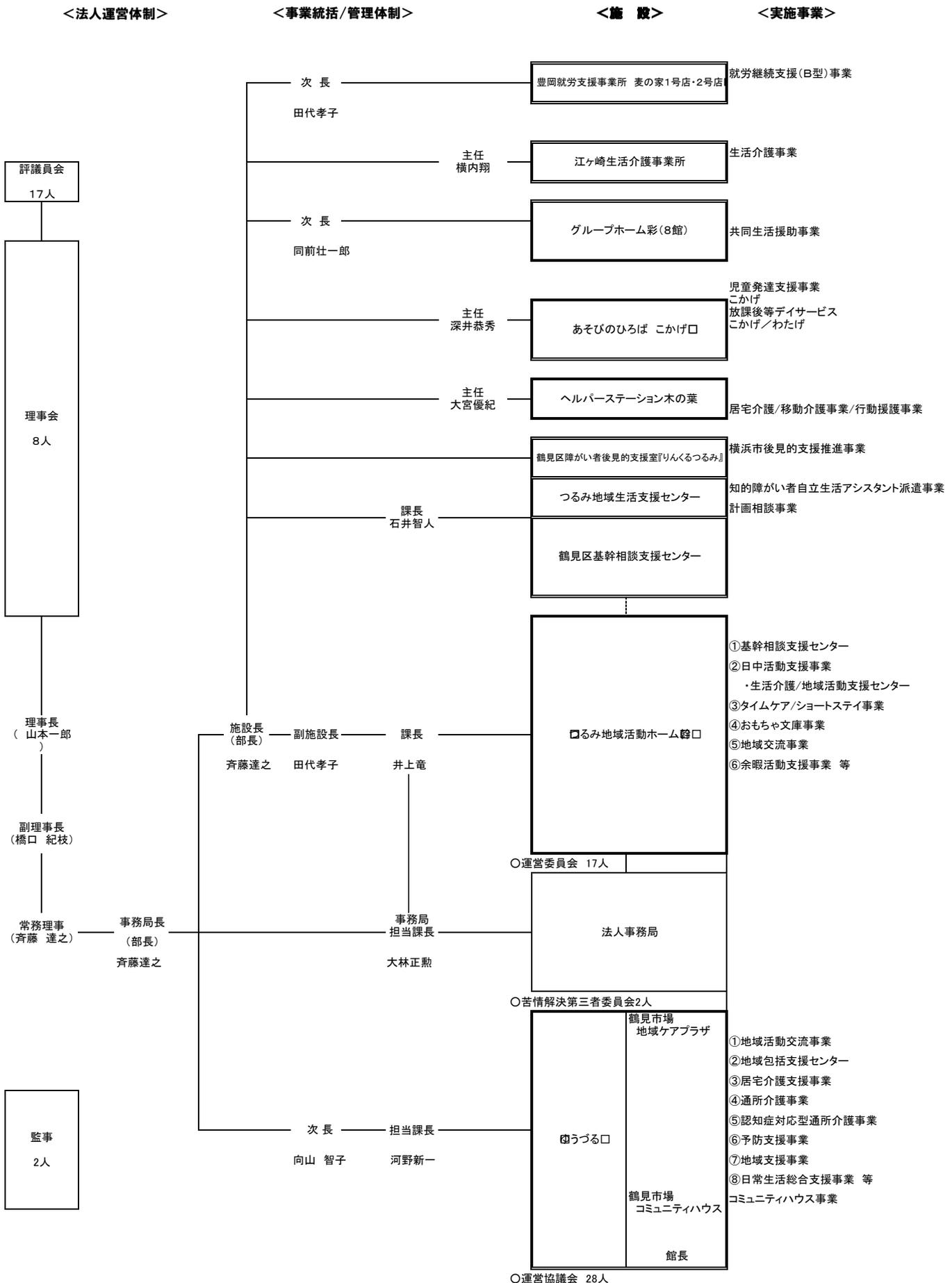
⑰ 麦の家2号店（豊岡就労支援事業所）・・・賃借

所在地	横浜市鶴見区本町通 1-11 リバーサイド・サイトー
階 数	地上 6 階建（1 階部分）
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造
借用面積	1 3 1.95 m ² （延床面積） 9 9.74 m ² （店舗） 3 2.21 m ² （事務スペース）

(4) 組織体制 (平成29年3月31日現在)

法人名称	社会福祉法人 大 樹					
設立認可日	平成11年11月2日認可					
代表者	理事長 山本 一郎					
法人所在地	横浜市鶴見区北寺尾四丁目21番20号					
電 話	045-585-9246	FAX	045-585-9247			
運営施設	豊岡就労支援事業所「麦の家」	賃貸	就労継続支援B型事業			
	〃 2号店	賃貸	就労継続支援B型事業			
	江ヶ崎生活介護事業所	賃貸	生活介護事業			
	グループホーム彩事業所 檜の木ハイツ	賃貸	共同生活援助事業			
	〃 楠の木ハイツ	賃貸	共同生活援助事業			
	〃 けやきハイツ	賃貸	共同生活援助事業			
	〃 さくらの木ハイツ	賃貸	共同生活援助事業			
	〃 寺谷ホーム1号館 (ももの木ハイツ)	賃貸	共同生活援助事業			
	〃 寺谷ホーム2号館 (くりの木ハイツ)	賃貸	共同生活援助事業			
	〃 ゆずの家	賃貸	共同生活援助事業			
	〃 かりんの家	賃貸	共同生活援助事業			
	ヘルパーステーション木の葉	賃貸	居宅介護・移動介護・行動 援護事業			
	つるみ地域生活支援センター	賃貸	幹相談支援室・後見的支援 鶴見区基幹相談支援センター			
	つるみ地域活動ホーム 幹	法人所有	社会福祉法人型地域活動 ホーム (障がい関連事業)			
	あそびのひろば こかげ	賃貸	児童発達支援事業 放課後等デイサービス事業			
鶴見市場地域ケアプラザ・ コミュニティハウス	指定管理	高齢・児童・障がい等 地域福祉保健事業				
役員	理事定数	8人	現員	8人	任期満了日	平成29年11月24日
	監事定数	2人	現員	2人	任期満了日	平成29年11月24日
	評議員定数	17人	現員	17人	任期満了日	平成29年 3月25日
職員	障害関連	185人	常 勤	64人	非常勤	121人
	ケアプラザ	49人	常 勤	17人	非常勤	32人
	計	224人	計	81人	計	143人

★平成28年度 大樹組織体制



2 附属明細書

平成28年度

社会福祉法人大樹 事業報告

【附属明細書】

平成28年度 豊岡就労支援事業所 麦の家 実績

資料 1

豊岡就労支援事業所（定員20人11月からは定員35人）

（）は昨年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
福祉活動実績の部	開所日数	20	19	22	20	20	21	23	22	19	19	20	21	246(239)		
	稼働率等	延利用者	407	385	451	394	356	388	384	396	362	357	385	405	4,670 (4,022)	
		1日平均	20.4	20.3	20.5	19.7	17.8	18.5	18.0	18.0	19.1	18.8	19.3	19.3	19.0 (16.8)	
就労活動収支の部	収入の部	製造販売の部	営業日数	20	19	21	20	20	21	23	21	19	19	20	21	244(235)
			客数1号店	1,296	1,293	1,276	1,078	957	1,187	1,331	1,217	1,163	1,076	1,178	1,235	14,287(15,250)
			客数2号店									1,917	1,235	1,387	1,482	6,021 (-)
			売上1号店	1,077,390	1,205,229	1,192,707	1,013,165	1,092,395	1,085,505	1,613,050	1,319,530	1,004,749	972,910	1,195,550	1,097,790	13,864,970(14,603,900)
			売上2号店									1,078,560	783,660	858,620	926,030	3,646,870(-)
			1日平均売上	53,870	63,433	56,796	50,658	52,019	51,691	70,133	62,835	109,648	92,451	102,709	96,372	71,770(62,263)
			利用者工賃	430,920	366,200	423,240	367,280	329,400	367,640	360,240	366,400	386,190	380,475	407,700	431,280	4,616,965(3,954,940)
	賞与					198,000				429,000			195,000	822,000 (866,000)		

1人平均 21,163(20,168)円
1ヶ月工賃

あそびのひろばこかげ&わたげ 28年度利用実績

資料 2

		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
利用実績	児童発達支援	活動日	20	19	22	20	18	20	20	20	19	19	20	21	238
		契約者数	11	13	16	17	19	21	21	23	23	23	23	23	233
		延べ利用者数	61	73	104	89	101	109	114	110	118	119	102	121	1,221
		当日欠席者数	2	5	2	9	13	11	7	18	12	9	14	9	111
		利用予定者数	81	90	123	126	142	146	146	158	148	155	158	169	1,642
		出席率	75.31%	81.11%	84.55%	70.63%	71.13%	74.66%	78.08%	69.62%	79.73%	76.77%	64.56%	71.60%	74.36%
		平均	3.05	3.84	4.73	4.45	5.61	5.45	5.70	5.50	6.21	6.26	5.10	5.76	5.13
	放課後等デイサービス【こかげ】	活動日	25	23	26	25	21	24	25	24	23	23	23	25	287
		こかげ契約者数	31	32	32	32	32	32	31	31	31	31	31	30	376
		こかげ利用者数【放課後】	103	113	138	80	7	122	113	121	92	100	109	94	1,192
		こかげ利用者数【土・長期休み】	22	14	13	38	71	15	13	10	28	25	11	19	279
		延べ利用者数	125	127	151	118	78	137	126	131	120	125	120	113	1,471
		送迎利用者	59	69	89	44	0	74	72	77	56	62	68	61	731
		当日欠席者数	8	5	7	8	6	7	5	11	3	5	2	4	71
		利用予定者数	156	144	173	162	145	158	157	154	147	151	143	161	1,851
		出席率	80.13%	88.19%	87.28%	72.84%	53.79%	86.71%	80.25%	85.06%	81.63%	82.78%	83.92%	70.19%	79.47%
		平均	5.00	5.52	5.81	4.72	3.71	5.71	5.04	5.46	5.22	5.43	5.22	4.52	5.13
	放課後等デイサービス【わたげ】	活動日	25	23	26	25	21	24	25	24	23	24	23	25	288
		わたげ契約者数	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	384
		わたげ利用者数【放課後】	148	155	176	96	1	157	164	166	128	116	161	131	1,599
		わたげ利用者数【土・長期休み】	46	25	25	75	147	25	29	23	45	56	19	55	570
		延べ利用者数	194	180	201	171	148	182	193	189	173	172	180	186	2,169
		送迎利用者	103	134	141	66	0	122	135	136	94	87	132	77	1,227
		当日欠席者数	7	7	12	9	5	10	8	7	10	15	6	14	110
		利用予定者数	223	205	235	223	202	215	223	217	208	214	208	225	2,598
		出席率	87.00%	87.80%	85.53%	76.68%	73.27%	84.65%	86.55%	87.10%	83.17%	80.37%	86.54%	82.67%	83.49%
		平均	7.76	7.83	7.73	6.84	7.05	7.58	7.72	7.88	7.52	7.17	7.83	7.44	7.53

対象	事業名	日時	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		実施回数	参加人数	内容	予定参加者数(区-)
			回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人				
高齢	1 転骨OB会明日香	毎週火曜日	4	77	5	95	4	70	5	62	4	57	4	64	4	71	5	102	4	80	4	68	4	72	4	73	51	891	介護予防体操	500
	2 骨密度測定	年6回																									0	0	介護予防体操、	100
	3 ヨガ健康体操	毎月第4金曜日	1	29	1	25	1	25	1	27	1	25	1	22	1	25	1	25	1	21	1	23	1	25	1	23	12	295	ヨガ	300
	4 はまちゃん体操	毎月第2、第4水曜日	2	64	2	58	2	65	2	58	2	48	2	51	2	58	2	52	2	49	2	47	2	50	2	46	24	646	はまちゃん体操	240
	5 ほがらか教室	毎月第3金曜日	1	126	1	96	1	75	1	52	0	0	1	77	1	78	1	80	1	73	1	140	1	77	1	74	11	948	健康づくり	800
	6 健康づくり教室体験	年1回										1															1	0	健康づくり	80
子育て	7 子育て支援者相談事業	毎週金曜日	4	100	5	103	4	106	4	102	4	106	4	104	4	110	4	65	3	72	3	116	4	124	4	127	47	1235	子育て相談	500
	8 ゆうづるキッズイベント	毎月第1、3火曜日	2	193	3	131	2	90	2	161	4	146	2	144	2	108	2	150	2	115	2	159	2	171	2	138	27	1706	読み聞かせ等	1800
	9 キッズだって夏祭り	夏祭り										1	230														1	230	夏祭り特別イベン	100
	10 ゆうづるルーム	毎日	28		30		29		30	314	30	307	29	300	30	365	29	282	27	275	18		18		21	319	1843	フリースペース	7000	
	11 ウッドデッキで水遊び	全6回							1	80	2	138															3	218	プール遊び	150
	12 コメット交流会	年2回																							0		0	0	交流会	50
	13 カフェコメット	毎月第3水曜日	1	25	1	46	1	104	1	8	0		1	18	1	32	1	26	1	71	1	38	1	41	1	16	11	425	カフェ	300
	14 カフェ&フリマ&アレンジメント	夏祭り									1																1	0	カフェ&フラワーアレンジメント&フリマ	200
	15 コメット座談会	年2回																									0	0	保育園・幼稚園に	100
	16 ゆうづるンバ	年4回															1	31									1	31	子育て講座	200
	17 ままつぶ	月2回																									0	0	子育て支援	
	18 出張カフェ		2	33	1	31	2	33	2	19	0	0	2	10	1	7	2	22	2	42	0	0	2	63	2	37	18	297	子育て講座	200
	19 こども支援ボランティア講座		0		0		0		1	17											2		2				5	17		
	20 ソフトエアロビ教室	年6回	1	10	1	13	1	13	1	14	1	7	1	8	1	8	1	15	1	5	1	15	1	16	1	19	12	143	養育者支援	360
21 絵本お話し会	年12回	1	28	1	36	1	33	1	30	0	0	1		1	30	1	34	1	88	1	24	1	40	1	56	11	399	読み聞かせ	50	
22 地域育児支援イベント	年1回													1	201											1	201	読み聞かせ等	200	
22 親子クッキング	年1回	1	17	1	19	1	23	1	30	0	0	1	23	1	26	1	6	1	24	1	23	1	23	0	0	10	214	親子で調理	200	
障がい	23 つるみサマーフレンド	年2回							2	70	1	20															3	90	余暇支援	60
	24 製品販売	年24回	2		2		2		2		2		2		2		2		2		2		2		2	24	0	作業所製品販売	200	
	25 スポンジテニス	年1回									1																1	0	スポンジテニス	40
	26 アートプロジェクト	年3回													1		1										2	0		
	27 のど自慢大会	年3回							1	45										45						1	44	47	89	カラオケ
子ども	28 七夕飾り付け	年1回							7																		7	0	子どもボランティア	20
	29 昔遊び教室	年6回																									0	0	昔遊び	50
ボラ	30 夏祭り	年1回									1	2000															1	2000	祭り	1300
	31 マージャンサロン	年24回	2	86	2	84	2	91	2	100	2	92	2	87	2	84	2	91	2	84	2	79	2	96	2	85	23	972	マージャン	600
	32 鉄道フェスタ	年1回																					1	640			1	640	鉄道祭り	300
	33 カルチャー教室	年4回			2																			1	6		3	6	ブリザードフラ	50
	34 夏休み自習室開放	夏休み期間							9		20																29	0	自習室	100
	35 クリスマスコンサート	年1回																1	91								1	91	コンサート	150
	36 パソコン相談室	年12回	1	14	1	10	1	18	1	11	1	5	1	6	1	7	1	9	1	8	1	9	1	7	1	8	12	112	パソコン相談	100
	37 サンタ・オニ派遣事業	年5回																	14		1						15	0	サンタ派遣	150
	38 地域活動紹介クイズ	年1回										1															1	350	地域活動紹介ク	300
	39 オール市場消費生活推進活動											1															1	150	消費生活活動	100
	40 スポーツセンター健康づくりゲーム											1															1	93	健康づくり普及	100
	41 ゆうづるコンサート					1	80																				1	90	健康づくり普及	90
	42 歌声喫茶					1	67											1	91								2	180	健康づくり普及	100
	43 健康カラオケ教室(初級)	年25回	2	45	2	39	2	39	2	37	2	35	2	33	2	34	2	32	2	53	2	27	2	30	2	30	25	343	生涯学習	300
	44 写真セミナー																										1	22	写真講座	20
	45 やさしい法律教室	年2回	0														2	39									2	24	法律問題	30
	46 出前寄席	年1回										1	20											1	46		1	67	落語	60
	47 男の料理教室		0	0	1	10	1	9	0		0		0		1	7	1	8	0		0		1	8	1	8	6	50	ボランティア育成	80
	48 ポッチャ交流会		1	6	1	10	1	7	1	6	0	0	0	0	1	7	1	4	1	4	1	5	1	5	0	0	9	54	障害理解	100
49 パソコン教室	年2回													2	22	2	24	2	10	3	63	2	26	2	24	13	169	パソコン初級講	120	
ボラ	50 ボランティア感謝祭	年1回																						1	69	1	69	交流会	40	
	51 個人活動		40		46		39		42		42		40		40		33		34		34		33		32	455	0		100	
	52 団体活動				7		6		6		6		6		9		10		7		10		8		9	84	0		300	
広報	53 イッピー発行	毎月1回	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	12	毎月広報誌発行 15000(枚)		
	54 ホームページ	毎月1回	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	24	ホームページ更新		
計			99	856	119	809	108	951	131	1246	136	3239	105	950	114	1283	111	1100	161	1259	96	839	97	1563	97	886	1374	15436		18490

3 計算書類

資金収支計算書

（自）平成28年4月1日 （至）平成29年3月31日

（単位：円）

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	182,871,600	174,989,563	7,882,037	
	就労支援事業収入	19,776,000	18,115,242	1,660,758	
	障害福祉サービス等事業収入	625,265,050	591,220,393	34,044,657	
	借入金利息補助金収入		0	0	
	経常経費寄附金収入		98,376	-98,376	
	受取利息配当金収入		14,881	-14,881	
	その他の収入	6,338,000	11,461,169	-5,123,169	
	事業活動収入計（1）	834,250,650	795,899,624	38,351,026	
	支出				
	人件費支出	578,499,810	561,453,670	17,046,140	
事業費支出	63,361,500	61,507,632	1,853,868		
事務費支出	140,004,285	153,037,737	-13,033,452		
就労支援事業支出	19,776,000	18,794,037	981,963		
利用者負担軽減額		0	0		
支払利息支出		0	0		
その他の支出	2,950,000	4,246,513	-1,296,513		
流動資産評価損等による資金減少額		0	0		
事業活動支出計（2）	804,591,595	799,039,589	5,552,006		
事業活動資金収支差額（3）=（1）-（2）	29,659,055	-3,139,965	32,799,020		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	7,500,000	7,500,000	0	
	施設整備等寄附金収入		0	0	
	設備資金借入金収入		0	0	
	固定資産売却収入		0	0	
	その他の施設整備等による収入		0	0	
	施設整備等収入計（4）	7,500,000	7,500,000	0	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出		0	0	
	固定資産取得支出	45,500,000	26,394,120	19,105,880	
	固定資産除却・廃棄支出		0	0	
ファイナンス・リース債務の返済支出		0	0		
その他の施設整備等による支出		0	0		
施設整備等支出計（5）	45,500,000	26,394,120	19,105,880		
施設整備等資金収支差額（6）=（4）-（5）	-38,000,000	-18,894,120	-19,105,880		
その他の活動による収支	収入				
	長期運営資金借入金元金償還寄附金収入		0	0	
	長期運営資金借入金収入		0	0	
	長期貸付金回収収入		0	0	
	投資有価証券売却収入		0	0	
	積立資産取崩収入	20,000,000	25,790,377	-5,790,377	
	その他の活動による収入	18,125,600	0	18,125,600	
	その他の活動収入計（7）	38,125,600	25,790,377	12,335,223	
	支出				
	長期運営資金借入金元金償還支出		0	0	
	長期貸付金支出		0	0	
投資有価証券取得支出		0	0		
積立資産支出	17,809,250	11,823,215	5,986,035		
その他の活動による支出	18,125,600	0	18,125,600		
その他の活動支出計（8）	35,934,850	11,823,215	24,111,635		
その他の活動資金収支差額（9）=（7）-（8）	2,190,750	13,967,162	-11,776,412		
予備費支出（10）			0		
当期資金収支差額合計（11）=（3）+（6）+（9）-（10）	-6,150,195	-8,066,923	1,916,728		
前期末支払資金残高（12）		323,932,288	-323,932,288		
当期末支払資金残高（11）+（12）	-6,150,195	315,865,365	-322,015,560		

資金収支内訳表

（自）平成28年4月1日 （至）平成29年3月31日

（単位：円）

勘定科目		社会福祉事業	公益事業	収益事業	合計	内部取引消去	法人合計	
事業活動による収入	介護保険事業収入	163,361,813	11,627,750	0	174,989,563		174,989,563	
	就労支援事業収入	18,115,242	0	0	18,115,242		18,115,242	
	障害福祉サービス等事業収入	591,220,393	0	0	591,220,393		591,220,393	
	借入金利息補助金収入	0	0	0	0		0	
	経常経費寄附金収入	98,376	0	0	98,376		98,376	
	受取利息配当金収入	14,881	0	0	14,881		14,881	
	その他の収入	11,361,498	99,671	0	11,461,169		11,461,169	
	事業活動収入計（1）	784,172,203	11,727,421	0	795,899,624	0	795,899,624	
	事業活動による支出	人件費支出	554,553,188	6,900,482	0	561,453,670		561,453,670
		事業費支出	59,178,896	2,328,736	0	61,507,632		61,507,632
事務費支出		150,672,002	2,365,735	0	153,037,737		153,037,737	
就労支援事業支出		18,794,037	0	0	18,794,037		18,794,037	
利用者負担軽減額		0	0	0	0		0	
支払利息支出		0	0	0	0		0	
その他の支出		4,246,513	0	0	4,246,513		4,246,513	
流動資産評価損等による資金減少額		0	0	0	0		0	
事業活動支出計（2）		787,444,636	11,594,953	0	799,039,589	0	799,039,589	
事業活動資金収支差額（3）=（1）-（2）		-3,272,433	132,468	0	-3,139,965	0	-3,139,965	
施設整備等による収入	施設整備等補助金収入	7,500,000	0	0	7,500,000		7,500,000	
	施設整備等寄附金収入	0	0	0	0		0	
	設備資金借入金収入	0	0	0	0		0	
	固定資産売却収入	0	0	0	0		0	
	その他の施設整備等による収入	0	0	0	0		0	
	施設整備等収入計（4）	7,500,000	0	0	7,500,000	0	7,500,000	
	施設整備等による支出	設備資金借入金元金償還支出	0	0	0	0		0
		固定資産取得支出	26,394,120	0	0	26,394,120		26,394,120
		固定資産売却・廃棄支出	0	0	0	0		0
		ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0	0		0
その他の施設整備等による支出		0	0	0	0		0	
施設整備等支出計（5）		26,394,120	0	0	26,394,120	0	26,394,120	
施設整備等資金収支差額（6）=（4）-（5）		-18,894,120	0	0	-18,894,120	0	-18,894,120	
その他の活動による収入		長期運営資金借入金元金償還寄附金収入	0	0	0	0		0
		長期運営資金借入金収入	0	0	0	0		0
		長期貸付金回収収入	0	0	0	0		0
	投資有価証券売却収入	0	0	0	0		0	
	積立資産取崩収入	25,730,438	59,939	0	25,790,377		25,790,377	
	事業区分間長期借入金収入	0	0	0	0		0	
	事業区分間長期貸付金回収収入	0	0	0	0		0	
	事業区分間繰入金収入	0	0	0	0		0	
	その他の活動による収入	0	0	0	0		0	
	その他の活動収入計（7）	25,730,438	59,939	0	25,790,377	0	25,790,377	
その他の活動による支出	長期運営資金借入金元金償還支出	0	0	0	0		0	
	長期貸付金支出	0	0	0	0		0	
	投資有価証券取得支出	0	0	0	0		0	
	積立資産支出	11,741,595	81,620	0	11,823,215		11,823,215	
	事業区分間長期貸付金支出	0	0	0	0		0	
	事業区分間長期借入金返済支出	0	0	0	0		0	
	事業区分間繰入金支出	0	0	0	0		0	
	その他の活動による支出	0	0	0	0		0	
	その他の活動支出計（8）	11,741,595	81,620	0	11,823,215	0	11,823,215	
	その他の活動資金収支差額（9）=（7）-（8）	13,988,843	-21,681	0	13,967,162	0	13,967,162	
当期資金収支差額合計（10）=（3）+（6）+（9）	-8,177,710	110,787	0	-8,066,923	0	-8,066,923		
前期末支払資金残高（11）	326,082,965	-2,150,677	0	323,932,288		323,932,288		
当期末支払資金残高（10）+（11）	317,905,255	-2,039,890	0	315,865,365	0	315,865,365		

第二号第一様式（第二十三条第四項関係）
事業活動計算書

（自）平成28年4月1日 （至）平成29年3月31日

（単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	介護保険事業収益	174,989,563	174,273,638	715,925
	就労支援事業収益	18,115,242	15,088,165	3,027,077
	障害福祉サービス等事業収益	591,220,393	570,501,218	20,719,175
	経常経費寄附金収益	98,376	2,233,853	-2,135,477
	その他の収益	0	0	0
	サービス活動収益計(1)	784,423,574	762,096,874	22,326,700
	費用			
	人件費	564,983,710	521,712,383	43,271,327
	事業費	61,507,632	61,982,797	-475,165
	事務費	153,037,737	124,841,506	28,196,231
	就労支援事業費用	18,794,037	15,169,356	3,624,681
	利用者負担軽減額	0	0	0
減価償却費	19,886,141	19,401,646	484,495	
国庫補助金等特別積立金取崩額	-16,752,656	-17,413,510	660,854	
徴収不能額	0	0	0	
徴収不能引当金繰入	0	0	0	
その他の費用	0	0	0	
サービス活動費用計(2)	801,456,601	725,694,178	75,762,423	
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	-17,033,027	36,402,696	-53,435,723	
サービス活動外増減の部	収益			
	借入金利息補助金収益	0	0	0
	受取利息配当金収益	14,881	59,379	-44,498
	有価証券評価益	0	0	0
	有価証券売却益	0	0	0
	投資有価証券評価益	0	0	0
	投資有価証券売却益	0	0	0
	その他のサービス活動外収益	11,617,441	6,660,420	4,957,021
	サービス活動外収益計(4)	11,632,322	6,719,799	4,912,523
	費用			
	支払利息	0	0	0
	有価証券評価損	0	0	0
	有価証券売却損	0	0	0
投資有価証券評価損	0	0	0	
投資有価証券売却損	0	0	0	
その他のサービス活動外費用	4,246,513	6,987,844	-2,741,331	
サービス活動外費用計(5)	4,246,513	6,987,844	-2,741,331	
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	7,385,809	-268,045	7,653,854	
経常増減差額(7) = (3) + (6)	-9,647,218	36,134,651	-45,781,869	
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	7,500,000	4,100,000	3,400,000
	施設整備等寄附金収益	0	0	0
	長期運営資金借入金元金償還寄附金収益	0	0	0
	固定資産受贈額	0	0	0
	固定資産売却益	0	0	0
	その他の特別収益	0	0	0
	特別収益計(8)	7,500,000	4,100,000	3,400,000
	費用			
	基本金組入額	0	0	0
	資産評価損	0	0	0
	固定資産売却損・処分損	0	0	0
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	0	0
国庫補助金等特別積立金積立額	7,500,000	4,100,000	3,400,000	
災害損失	0	0	0	
その他の特別損失	0	0	0	
特別費用計(9)	7,500,000	4,100,000	3,400,000	
特別増減差額(10) = (8) - (9)	0	0	0	
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	-9,647,218	36,134,651	-45,781,869	
繰越活動増減の部	前期繰越活動増減差額(12)	339,757,055	308,351,494	31,405,561
	当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	330,109,837	344,486,145	-14,376,308
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	22,930,020	4,860,000	18,070,020
	その他の積立金積立額(16)	5,589,090	9,589,090	-4,000,000
次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)	347,450,767	339,757,055	7,693,712	

事業活動内訳表

（自）平成28年4月1日 （至）平成29年3月31日

（単位：円）

勘定科目		社会福祉事業	公益事業	収益事業	合計	内部取引消去	法人合計
サービス活動増減の部	介護保険事業収益	163,361,813	11,627,750		174,989,563		174,989,563
	就労支援事業収益	18,115,242			18,115,242		18,115,242
	障害福祉サービス等事業収益	591,220,393			591,220,393		591,220,393
	経常経費寄附金収益	98,376			98,376		98,376
	その他の収益	0			0		0
	サービス活動収益計（1）	772,795,824	11,627,750	0	784,423,574	0	784,423,574
	人件費	558,061,547	6,922,163		564,983,710		564,983,710
	事業費	59,178,896	2,328,736		61,507,632		61,507,632
	事務費	150,672,002	2,365,735		153,037,737		153,037,737
	就労支援事業費用	18,794,037			18,794,037		18,794,037
	利用者負担軽減額				0		0
	減価償却費	19,886,141			19,886,141		19,886,141
	国庫補助金等特別積立金取崩額	-16,752,656			-16,752,656		-16,752,656
	徴収不能額	0			0		0
徴収不能引当金繰入	0			0		0	
その他の費用	0			0		0	
サービス活動費用計（2）	789,839,967	11,616,634	0	801,456,601	0	801,456,601	
サービス活動増減差額（3）＝（1）－（2）	-17,044,143	11,116	0	-17,033,027	0	-17,033,027	
サービス活動増減の部	借入金利息補助金収益				0		0
	受取利息配当金収益	14,881			14,881		14,881
	有価証券評価益	0			0		0
	有価証券売却益	0			0		0
	投資有価証券評価益	0			0		0
	投資有価証券売却益	0			0		0
	その他のサービス活動外収益	11,517,770	99,671		11,617,441		11,617,441
	サービス活動外収益計（4）	11,532,651	99,671	0	11,632,322	0	11,632,322
	支払利息				0		0
	有価証券評価損				0		0
	有価証券売却損				0		0
	投資有価証券評価損				0		0
	投資有価証券売却損				0		0
	その他のサービス活動外費用	4,246,513			4,246,513		4,246,513
サービス活動外費用計（5）	4,246,513	0	0	4,246,513	0	4,246,513	
サービス活動外増減差額（6）＝（4）－（5）	7,286,138	99,671	0	7,385,809	0	7,385,809	
経常増減差額（7）＝（3）＋（6）	-9,758,005	110,787	0	-9,647,218	0	-9,647,218	
特別増減の部	施設整備等補助金収益	7,500,000			7,500,000		7,500,000
	施設整備等寄附金収益				0		0
	長期運営資金借入金元金償還寄附金収益				0		0
	固定資産受贈額				0		0
	固定資産売却益				0		0
	事業区分間繰入金収益				0		0
	事業区分間固定資産移管収益				0		0
	その他の特別収益				0		0
	特別収益計（8）	7,500,000	0	0	7,500,000	0	7,500,000
	基本金組入額				0		0
	資産評価損				0		0
	固定資産売却損・処分損				0		0
	国庫補助金等特別積立金取崩額（除却等）				0		0
	国庫補助金等特別積立金積立額	7,500,000			7,500,000		7,500,000
災害損失				0		0	
事業区分間繰入金費用				0		0	
事業区分間固定資産移管費用				0		0	
その他の特別損失				0		0	
特別費用計（9）	7,500,000	0	0	7,500,000	0	7,500,000	
特別増減差額（10）＝（8）－（9）	0	0	0	0	0	0	
当期活動増減差額（11）＝（7）＋（10）	-9,758,005	110,787	0	-9,647,218	0	-9,647,218	
前期繰越活動増減差額（12）	341,907,732	-2,150,677		339,757,055		339,757,055	
当期末繰越活動増減差額（13）＝（11）＋（12）	332,149,727	-2,039,890	0	330,109,837	0	330,109,837	
基本金取崩額（14）				0		0	
その他の積立金取崩額（15）	22,930,020			22,930,020		22,930,020	
その他の積立金積立額（16）	5,589,090			5,589,090		5,589,090	
次期繰越活動増減差額（17）＝（13）＋（14）＋（15）－（16）	349,490,657	-2,039,890	0	347,450,767	0	347,450,767	

法人単位貸借対照表

平成29年3月31日現在

（単位：円）

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	422,805,117	440,287,677	-17,482,560	流動負債	106,939,752	116,355,389	-9,415,637
現金預金	287,156,374	277,836,944	9,319,430	短期運営資金借入金			0
有価証券			0	事業未払金	78,386,370	89,377,033	-10,990,663
事業未収金	135,055,616	161,772,193	-26,716,577	その他の未払金	913,899	788,554	125,345
未収金	42,720		42,720	支払手形			0
未収補助金		100,000	-100,000	1年以内返済予定設備資金借入金			0
未収収益			0	1年以内返済予定長期運営資金借入金			0
受取手形			0	1年以内返済予定リース債務			0
貯蔵品	17,376		17,376	1年以内返済予定役員等長期借入金			0
給食用材料			0	1年以内支払予定長期未払金			0
商品・製品			0	未払費用	22,229,585	20,892,437	1,337,148
仕掛品			0	預り金		1,173,796	-1,173,796
原材料			0	職員預り金	3,762,577	3,972,424	-209,847
立替金	145,215	252,862	-107,647	前受金			0
前払金	72,476	23,388	49,088	前受収益			0
前払費用			0	仮受金	1,647,321	151,145	1,496,176
1年以内回収予定長期貸付金			0	當与引当金			0
短期貸付金			0	その他の流動負債			0
仮払金	315,340	302,290	13,050				
その他の流動資産			0				
徴収不能引当金			0				
固定資産	346,607,416	144,274,578	202,332,838	固定負債	38,469,245	36,367,830	2,101,415
基本財産	197,806,654	0	197,806,654	設備資金借入金			0
建物	197,806,654		197,806,654	長期運営資金借入金			0
定期預金			0	リース債務			0
その他の固定資産	148,800,762	144,274,578	4,526,184	退職給付引当金	38,469,245	36,367,830	2,101,415
建物			0	長期未払金			0
構築物	28,302,684	12,583,906	15,718,778	長期預り金			0
機械及び装置			0	その他の固定負債			0
車輜運搬具	5,751,568	7,748,589	-1,997,021	負債の部合計	145,408,997	152,723,219	-7,314,222
器具及び備品	17,455,039	11,486,313	5,968,726	純資産の部			
建設仮勘定			0	基本金	18,000,000	18,000,000	0
有形リース資産			0	国庫補助金等特別積立金	210,850,513	220,103,169	-9,252,656
権利			0	その他の積立金	47,702,256	65,043,186	-17,340,930
ソフトウェア	1,079,970	1,004,754	75,216	人件費積立資産	13,253,726	13,253,726	0
無形リース資産			0	修繕積立資産	30,086,230	47,427,250	-17,341,020
投資有価証券			0	設備整備積立資産	4,362,300	4,362,210	90
長期貸付金			0	次期繰越活動増減差額	347,450,767	339,757,055	7,693,712
退職給付引当資産	38,469,245	36,367,830	2,101,415	（うち当期活動増減差額）	-9,647,218	36,134,651	-45,781,869
人件費積立資産	13,253,726	13,253,726	0				
修繕積立資産	30,086,230	47,427,250	-17,341,020	純資産の部合計	624,003,536	642,903,410	-18,899,874
設備整備積立資産	4,362,300	4,362,210	90	負債及び純資産の部合計	769,412,533	795,626,629	-26,214,096
差入保証金	10,040,000	10,040,000	0				
長期前払費用			0				
その他の固定資産			0				
資産の部合計	769,412,533	584,562,255	184,850,278				

貸借対照表内訳表

平成29年3月31日現在

(単位：円)

勘定科目	社会福祉事業	公益事業	収益事業	合計	内部取引消去	法人合計
資産の部						
流動資産	422,479,330	325,787	0	422,805,117	0	422,805,117
現金預金	286,863,672	292,702	0	287,156,374		287,156,374
有価証券	0	0	0	0		0
事業未収金	135,022,531	33,085	0	135,055,616		135,055,616
未収金	42,720	0	0	42,720		42,720
未収補助金	0	0	0	0		0
未収収益	0	0	0	0		0
受取手形	0	0	0	0		0
貯蔵品	17,376	0	0	17,376		17,376
給食用材料	0	0	0	0		0
商品・製品	0	0	0	0		0
仕掛品	0	0	0	0		0
原材料	0	0	0	0		0
立替金	145,215	0	0	145,215		145,215
前払金	72,476	0	0	72,476		72,476
前払費用	0	0	0	0		0
1年以内回収予定長期貸付金	0	0	0	0		0
1年以内回収予定事業区分間長期貸付金	0	0	0	0		0
短期貸付金	0	0	0	0		0
事業区分間貸付金	0	0	0	0		0
仮払金	315,340	0	0	315,340		315,340
その他の流動資産	0	0	0	0		0
徴収不能引当金	0	0	0	0		0
固定資産	345,617,464	989,952	0	346,607,416	0	346,607,416
基本財産	197,806,654	0	0	197,806,654	0	197,806,654
建物	197,806,654	0	0	197,806,654		197,806,654
定期預金	0	0	0	0		0
その他の固定資産	147,810,810	989,952	0	148,800,762	0	148,800,762
建物	0	0	0	0		0
構築物	28,302,684	0	0	28,302,684		28,302,684
機械及び装置	0	0	0	0		0
車輛運搬具	5,751,568	0	0	5,751,568		5,751,568
器具及び備品	17,455,039	0	0	17,455,039		17,455,039
建設仮勘定	0	0	0	0		0
有形リース資産	0	0	0	0		0
権利	0	0	0	0		0
ソフトウェア	1,079,970	0	0	1,079,970		1,079,970
無形リース資産	0	0	0	0		0
投資有価証券	0	0	0	0		0
長期貸付金	0	0	0	0		0
事業区分間長期貸付金	0	0	0	0		0
退職給付引当資産	37,479,293	989,952	0	38,469,245		38,469,245
人件費積立資産	13,253,726	0	0	13,253,726		13,253,726
修繕積立資産	30,086,230	0	0	30,086,230		30,086,230
設備整備積立資産	4,362,300	0	0	4,362,300		4,362,300
差入保証金	10,040,000	0	0	10,040,000		10,040,000
長期前払費用	0	0	0	0		0
その他の固定資産	0	0	0	0		0
資産の部合計	768,096,794	1,315,739	0	769,412,533	0	769,412,533
負債の部						
流動負債	104,574,075	2,365,677	0	106,939,752	0	106,939,752
短期運営資金借入金	0	0	0	0		0
事業未払金	77,328,447	1,057,923	0	78,386,370		78,386,370
その他の未払金	868,806	45,093	0	913,899		913,899
支払手形	0	0	0	0		0
1年以内返済予定設備資金借入金	0	0	0	0		0
1年以内返済予定長期運営資金借入金	0	0	0	0		0
1年以内返済予定リース債務	0	0	0	0		0
1年以内返済予定役員等長期借入金	0	0	0	0		0
1年以内返済予定事業区分間長期借入金	0	0	0	0		0
1年以内支払予定長期未払金	0	0	0	0		0
未払費用	21,459,313	770,272	0	22,229,585		22,229,585
預り金	0	0	0	0		0
職員預り金	3,270,188	492,389	0	3,762,577		3,762,577
前受金	0	0	0	0		0
前受収益	0	0	0	0		0
事業区分間借入金	0	0	0	0		0
仮受金	1,647,321	0	0	1,647,321		1,647,321
賞与引当金	0	0	0	0		0
その他の流動負債	0	0	0	0		0
固定負債	37,479,293	989,952	0	38,469,245	0	38,469,245
設備資金借入金	0	0	0	0		0
長期運営資金借入金	0	0	0	0		0
リース債務	0	0	0	0		0
退職給付引当金	37,479,293	989,952	0	38,469,245		38,469,245
長期未払金	0	0	0	0		0
長期預り金	0	0	0	0		0
その他の固定負債	0	0	0	0		0
負債の部合計	142,053,368	3,355,629	0	145,408,997	0	145,408,997
純資産の部						
基本金	18,000,000	0	0	18,000,000		18,000,000
国庫補助金等特別積立金	210,850,513	0	0	210,850,513		210,850,513
その他の積立金	47,702,256	0	0	47,702,256	0	47,702,256
人件費積立資産	13,253,726	0	0	13,253,726		13,253,726
修繕積立資産	30,086,230	0	0	30,086,230		30,086,230
設備整備積立資産	4,362,300	0	0	4,362,300		4,362,300
次期繰越活動増減差額	349,490,657	-2,039,890	0	347,450,767		347,450,767
(うち当期活動増減差額)	-9,758,005	110,787	0	-9,647,218		-9,647,218
純資産の部合計	626,043,426	-2,039,890	0	624,003,536	0	624,003,536
負債及び純資産の部合計	768,096,794	1,315,739	0	769,412,533	0	769,412,533

■豊岡就労支援事業所 麦の家

1号店 〒230-0062 横浜市鶴見区豊岡町 14 番 27 号
TEL 633-8640 FAX 633-8641 E-mail miki-toyooka@taiju.or.jp
2号店 〒230-0048 横浜市鶴見区本町通 1-1 1 リバーサイド・サイトー
TEL 633-8162 FAX 633-8162 E-mail miki-toyooka@taiju.or.jp

■江ヶ崎生活介護事業所

〒230-0002 横浜市鶴見区江ヶ崎町 19 番 26 号の 1
TEL 947-3280 FAX 947-3281 E-mail miki-egasaki@taiju.or.jp

■グループホーム彩事業所

榎の木ハイツ：横浜市鶴見区鶴見中央二丁目 楠の木ハイツ：横浜市鶴見区北寺尾二丁目
けやきハイツ：横浜市鶴見区仲通三丁目 さくらの木ハイツ：横浜市鶴見区岸谷一丁目
寺谷ホーム 1 号館：横浜市鶴見区寺谷一丁目 寺谷ホーム 2 号館：横浜市鶴見区寺谷一丁目
ゆずの家：横浜市鶴見区東寺尾六丁目 かりんの家：横浜市鶴見区北寺尾四丁目

■ヘルパーステーション 木の葉

〒230-0062 横浜市鶴見区豊岡町 3 番 4 号 リコービル 5 階
TEL 633-8224 FAX 633-8647 E-mail konoha@taiju.or.jp

■障がい者後見的支援室「りんくるつるみ」

〒230-0062 横浜市鶴見区豊岡町 3 番 4 号 リコービル 1 階
TEL 633-8471 FAX 582-1313 E-mail rinkle-t@taiju.or.jp

■つるみ地域生活支援センター（計画相談支援、障害者自立生活アシスタント）

〒230-0062 横浜市鶴見区豊岡町 3 番 4 号 リコービル 1 階
TEL 710-0242 FAX 582-1313 E-mail miki-soudan@taiju.or.jp

■鶴見区基幹相談支援センター

〒230-0062 横浜市鶴見区豊岡町 3 番 4 号 リコービル 1 階
TEL 580-5066 FAX 582-1313 E-mail miki-soudan@taiju.or.jp

■つるみ地域活動ホーム 幹

〒230-0074 横浜市鶴見区北寺尾四丁目 21 番 20 号
TEL 585-9246 FAX 585-9247 E-mail miki@taiju.or.jp

■あそびのひろば こかげ（こかげ・わたげ）

〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央三丁目 10 番 20 号 あしほ総合クリニック 2 階
TEL 503-1256 FAX 503-1256 E-mail miki-kokage@taiju.or.jp
〒230-0062 横浜市鶴見区豊岡町 3 番 4 号 リコービル 2 階（わたげ）
TEL 834-7456 FAX 834-7456

■鶴見市場地域ケアプラザ・コミュニティハウス（ゆうづる）

〒230-0024 横浜市鶴見区市場下町 11 番 5 号
(地域ケアプラザ)
代表：TEL 504-1077 FAX 500-6677 E-mail cp-ichiba@taiju.or.jp
相談：TEL 504-1188 FAX 500-6677 E-mail cp-ichiba@taiju.or.jp
(コミュニティハウス)
TEL 500-6688 FAX 500-6612 E-mail ch-ichiba@taiju.or.jp

社会福祉法人 大 樹

〒230-0074 横浜市鶴見区北寺尾四丁目 21 番 20 号
TEL 585-9246 FAX 585-9247
E-mail miki@taiju.or.jp URL <http://www.taiju.or.jp>

